京城日報
四日夕刊

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢
廣告料
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

露國の形勢

▲議會と廢帝優遇

露國憲法議會は廢帝並にロマノフ家に對し少からざる優遇料を贈呈せん（哈爾賓電報）

▲舊政府間諜盛んに捕はる

露都來電—獨探の煽動的運動は最早如何なる愚昧の人民をも動かす能はざるに至れり目下舊政府の間諜嫌疑を以て捕縛さるゝもの日日四十乃至五十名に達せり（倫敦電報）

○米大統領の宣明

米國大統領ウキルソン氏は二日午後八時議會に於て米獨は目下交戰狀態にある事を宣明せり（桑港電報）

○議會と大統領演說

大統領ウキルソン氏は議會に於て演說して米獨兩國間に交戰狀態成立の宣言を要求して曰く獨逸との戰爭は聯合國の爲十二分に財政上の援助を爲す等其他聯合國と實際的協同動作を爲す事となるべしと猶大統領は五十萬人を徵集し國民皆兵制を樹て又墺國其他に對して何等の敵對行動に出づるものにあらざる事を明かにせん事を勸告したり（紐育電報）

○强制徵兵案の提出

米國參謀本部の提案に係る强制徵兵案は二日下院に提出さる同案は米國民中十八歲以上二十二歲迄の壯年を徵集訓練せんとするものなり（紐育電報）

○米國議會の騷擾

米國議會に於て議員中贊否兩派の爭鬪甚しく腕力に訴ふるものある等騷擾を極む（桑港電報）

○武裝米汽船擊沈さる

佛國ブレスト港駐在米國領事より船主の許に達したる電報に依れば武裝の上歐洲に向け發航したる第一次の米國汽船アヅテック號（三五〇八噸）は去月三十一日獨逸潜航艇に擊沈せられたりと（紐育電報）

○墺外相と講和言明

墺國外相は何時にても講和談判に應ずる旨を言明せり（倫敦電報）

○獨墺の講和新提議

獨逸半官報は報道して曰く獨墺兩政府は新たに講和條件を提出し平和提議をせんと（桑港電報）

○獨社會黨の共和力說

獨逸議會にて社會黨議員は獨逸共和國建設の必要を力說せり（桑港電報）

○西部戰線の大活動

英軍司令部附路透通信員三月廿七日附の電報に曰く「目下世界衆目の的となれる西部戰線に於ては天候引續き不良なるに拘らず大活動を現出し廿六日夜の公報に見ねたるラーギタールの奪取はボーメツ郊外クロア、ジル間なる我前進戰線を鞏固ならしむるを得たり敵は其援護隊にとりて特に此の地點を重要視するもの〻如く之を力爭せんとし午後にはクソー方面より强力部隊を出して決死の反擊を試みたり（倫敦電報）

○段總理と各國公使協議

四月二日段總理は林駐支公使及び聯合國公使等は參戰問題に就き協議する所ありたり（北京電報）

○東宮工廠御成

東宮殿下には御見學の爲四日朝橫須賀海軍工廠に御成り遊ばされたり（東京電報）

○宮中杖勅許

二日左の如く宮中杖差許さる可き旨御沙汰ありたり（東京特電）

正二位公爵　山縣有朋
正二位侯爵　大隈重信
正二位伯爵　坂垣退助
正二位伯爵　樺山資紀
（各通）
老年に就き特旨を以て宮中杖差許さる

○三月下旬貿易

千八百萬圓出超

大藏省の調査に係る三月下旬の貿易は前旬に比し輸出は生絲、石炭に於て著しく減少せるも銅、屑絲、羽二重の增額に依り三割九分を增加し輸入は硝石、鐵、鋼に於て多少の減少を見たるも棉花、眞鍮其他の增加に依り一割九分を增加し輸出入差引千七百九十五萬六千圓の出超を示せり（東京特電）

○政府募債準備

政府は大正六年度募債額七千八百六十萬圓の一部を發行すべく目下準備中なりと（東京電報）

○辭令

四日附を以て左の如く辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府事務官　亥角仲藏
朝鮮總督府財務總監部會計課長を命す
同　國友尙謙
同警務課長を命す

五日の李埈公御葬儀

▲勅使御使御名代等定まる

故李埈公殿下の御葬儀に對する勅使、御使、皇族總代は左の通り決定せり

公殿下邸
賜物の御使（燒香を含む）
海軍少將總督附武官　釜屋六郎
皇后宮御使
陸軍大佐總督附武官　高橋綏次郎
各官家總代御名代
陸軍中佐總督副官　齋藤義夫
勅使隨員　御使隨員
通譯生　田中次郎
屬　川村哲

齋式場
勅使
海軍少將總督附武官　釜屋六郎
皇后宮御使
陸軍大佐總督附武官　高橋綏次郎
皇族總代御名代
陸軍中佐總督副官　齋藤義夫
勅使隨員　御使隨員
通譯生　田中次郎
屬　川村哲

而して勅使御使並に皇族總代は警部四騎前後を警衛し公邸及び齋場に向ふ事となれり

▲總督以下參列

故李埈公殿下御葬儀に對し總督府側よりは長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官、局長、所屬官署の長等は勿論各官署內各課長以上は何れも參列す可し

▲千代田廻航

軍艦千代田は李埈公殿下御葬儀に參列の爲め二日午後四時仁川に入港せることは既報の通りなるが乘組員下士卒約百四十名は四五の兩日に亘り午前八時十分南大門驛著入京漢陽公園、景福宮、昌德宮及びパゴダ公園を見學し各日午後五時五分南大門驛發列車にて歸任の豫定なり

▲御次第

故李埈公御葬儀は五日孔德里御齋場所に於て執り行はるゝ事と成り當日午前八時公邸には聖上御使釜屋海軍少將皇后宮御使高橋陸軍大佐參向し兩陛下より下賜の幣帛を靈柩に供へ御拜禮あり午前八時廿五分勅使御歸還あり同八時三十分昌德宮、德壽宮、王世子御使李堈公殿下御來邸靈柩に御拜禮あり午前九時靈柩邸第を出で門前に設けたる祭場に於て路祭を行ひ午前十時御發輿（殯宮）洞を南に鍾路に出で光化門通を橫切り義州通行電車路に沿ひ阿峴を越ゑ孔德里祭儀場に入る豫定なり祭儀は朝鮮の古式に則り最も莊嚴に執行せらるゝ上に當日兩陛下御下賜の榊を始め各宮殿下李王家內閣總理大臣宮內大臣其他の大官貴族より贈られたる神生花等を捧げ且つ步兵七十八聯隊長山內大佐の指揮する同聯隊及び朝鮮步兵隊の全部約二千の儀仗兵を附せられ殊に回航されたる軍艦千代田艦長以下乘組將校士餘名も參列し葬列二十餘丁に及ぶ豫定なりと靈柩は正午孔德里祭儀場に御着し靈柩を祭閣に安置し午後零時三十分成殯奠をおこなふ此の時二十一發の弔禮砲發射せらる同零時四十分勅使釜屋武官、皇后宮御使高橋武官祭儀場に御着午後一時より式典、勅使、皇后宮御使各宮殿下御總代御使順次御香御拜禮あり次に假喪主李鍝公子、李王殿下、李太王殿下、王世子殿下、御使李堈公殿下順次御燒香次で總督親任、官親戚總代勅任官及び貴族會葬者燒香此の間儀仗兵三回の弔銃齊發あり式を終り靈柩を斂葬し午後六時より殯所洞にて返虞式を行はるゝ筈なり

▲御葬儀時間順

午前十時　本邸御發輿
同十二時頃　靈輿祭儀場御著
午後零時卅分　成殯奠を行ふ
此間弔砲（二十一發）
同零時四十分　勅使御使祭儀場御著
同一時　式典
同　此間弔銃齊發（三回）
同六時　西大門外蓑井洞に於て返虞式を行ふ

▲注意事項（一般會葬者）

▲勅使皇后陛下御使祭儀場御著、御燒香並に御退出の際は總員起立脫帽のこと
▲會葬者は服制ある者は制服に喪章を附し其の他は燕尾服若は「フロツクコート」（山高帽）に各喪章を附すること
（參考）會葬員文官貴族は大禮服、警察官は正服、陸軍々人は正裝、海軍々人は正服何れも黑紗を左腕に纏ふ
▲會葬者は當日正午迄に式場に參集せらるゝこと
▲會葬者は式場受付に名刺を差出さるゝこと
▲乘用の車馬等は所定の場所に置かるゝこと
▲式場に在りては靜肅を守り所定の順序に依り燒香拜禮を了りて退出せらるゝこと

▲御葬儀係官

故李埈公御葬儀當日係官左の如し

接伴係
勅使御使各宮殿下御總代御使附
玄事務官　權藤事務官
金（亨燮）附武官　朴事務官（敍）
兩宮若宮殿下御使李堈公殿下及御親戚附
韓事務官　趙事務官
李（舜永）贊侍　李（秉規）附武官
親任官勅任官及び貴族附
李（恒九）事務官（敍）　玄事務官（敍）
武藤事務官（敍）　權藤事務官（敍）
末松事務官
一般會葬者附
呼子事務官　中附武官
黑崎事務官（敍）　康附武官（敍）
儀仗兵附
康附武官
行列（反馬車）係
金事務官（敍）　李（源丹）事務官
庶務係
武藤事務官　近藤事務官
式場係
設饌附
田中事務官　金技師
金事務官（敍）　朴事務官（敍）
式典附
朴事務官　李（源昇）事務官
受付係
尹事務官
會計係
黑崎事務官　趙事務官（敍）
敎護掛
神岡囑託　安（商浩）囑託
返虞係
尹事務官（一）　金技師

◎新株募入決定

朝鮮銀行新株の募入は申込價格百三十圓以上のもの全部及び申込價格百二十九圓の內一口の申込株數七株以上のものは其の六割乃至七割を募入する事に決定せるが此の株數五千三百十七株なり尙ほ此の他申込價格百二十九圓の內一口の申込株數六株以下のもの及び申込價格百二十八圓以下のものは今回の新株募集に全部募入外れと確定したりと

◎山形大佐昇任

陸軍少將に任ぜらる

三月三十一日滿期退職せし山形憲兵大佐は四月一日附を以て陸軍少將に昇任せり

◎來賓一行退京

滯京中なりし日支聯絡會議記念祝賀會支那側參列者一同は既記の如く三日午前八時三十分南大門驛發列車にて退京東京へ向へり

◎小原長官歸期

支那滿洲方面視察の途元山に滯在中なりし農商工部長官小原新三氏は愈五日午後五時十分南大門驛著歸任の旨其の筋に通知ありたり

◎石塚總裁嚴父の訃

石塚東拓總裁は今般其の嚴父八十六歲の高齡を以つて昨夜逝去の悲報に接し若松に向け急遽出發すべしと

◎中野警務官忌引

警務總監部中野保安課長は四日午前郷里に於て實姉死去の計に接したる爲め同日忌引せり

◎菅野東亞社長催宴

新任披露の爲め入京中なる東亞煙草會社長菅野盛三郎氏は三日午後六時三十分より京城實業家及び新聞通信社員等を花月に招待し盛宴を張れり

◎釜山日報祝賀會

釜山日報社改題十年幷に輪轉機据付、鑄文記事揭載記念祝賀會を三日午前十時より釜山座に於て開催したるが來賓は釜山の官民千名芥川同社長の挨拶に次ぎ若松釜山府尹大池商業會議所會頭追間府協議會議員、香椎學校組合議員大原水産組合長各組合及諸團體の代表者十數氏の祝辭祝文の朗讀あり釜山の長老福田增兵衞氏の音頭にて天皇陛下の萬歲を三唱次いで釜山日報の萬歲を三唱し式を終へ釜山藝妓總出にて種々の餘興を演じ午後五時散會したり（釜山）

◎德富監督入京

本社監督德富猪一郎氏は令息萬熊氏同伴三日午後九時南大門驛著列車にて入京北門內淸雲洞の愛吾廬に入れり

□日本海へ出て
四月一日立神丸にて　小原烏兎生
おらが國の山に對すや浦霞
國へ歸る船の遲日や蓄音器
雪の野を巡り來し京の春に入る
四五日頃には歸京可仕候

【仁川】▲竹尾判事上京　仁川支廳竹尾判事は四日午前十時事務打合せの爲め紐峴發入京同日歸任の筈▲檢査成績不良　仁川米穀檢査の成績を聞くに三月下半期に於ける檢査總數は二萬五千五百叺にして前期に比し約六千四百叺の增加にて內優等六百叺上格二千五百五十叺下格二萬千九百四十九叺にして從來に比し下格、不合格米の增加著しき者あり此れ地方廻著の悉く改良調製を施さずして申請したる不注意に基く者なりと▲下半月輸移出高　仁川港より三月下半月中に輸移出せる米は二萬五千九十九叺にして全部大阪仕向けなり▲井上訓導轉任　仁川尋常小學校井上訓導は西大門小學校に轉任命せられ四日赴任す可く三日夜は送別會ある筈▲春期淸潔法　仁川警察署にては七日より二十一日迄十四日間春期淸潔法を施行すべし

【群山】▲商議總會　群山商業會議所にては四日午後三時より商議員總會を開き會議所建物移築及び增築の件定款一部改正の件港灣調査會に關する件等に付附議する豫定なるが當事者は數回議員の集會を催したるも徒らに議席を汚す不熱心なる一部議員の出席無き爲めに常に議決定員數に充たず流會となりありしも議案中には緊急を要するものあるて五日の會議は是非共議員の出席有效定數に充たし議事を進行せしむべしと▲淸酒品評會　醸造品向上の目的を以て群山府及び當府內醸造家等の發起となり唎酒會なるものを組織し各醸造家會同し相互公平なる品評審査を爲し品質の向上を計り斯業の獎勵に資する事となり其第一回を去月三十一日群山府廳樓上に開催したるが當日出席の醸造家は河野、赤松、香原、上野、上甲、岩本氏等にして唎酒會規定の概要は一、出品人其出藏人關係人の唎酒に依り採點票に各點數を記入する事二、採點法は百點滿點として左の標準に據る事（イ）香氣四十點（ロ）風味四十點（ハ）色澤二十點三、得點數は會場に於て公評に附し四、最高點酒の出品人は醸造に關する私見を述ぶる事五、其他の醸造に關する協同研究を爲す事等なり

【忠州】▲公醫辭任　大正二年以來公醫として忠州刀圭界に貢献せし醫學士福岡英太郞氏は道回公醫を辭し淸州反町醫師の後を襲ひ四月一日出發したるが忠州官民は多年の功勞に酬ゆべく記念品を贈呈せり▲會議員選擧　忠州學校組合會議員補缺選擧は來る二十日午前八時より午後四時迄組合事務所に於て擧行の筈▲岡田技師巡視　專賣課忠州出張所長岡田技師は黃色煙草播種狀況視察の爲め二十一日槐山郡に出張三十一日歸忠▲撞球大會　忠州俱樂部春期撞球大會は三十一日より四月三日まで四日間に涉り擧行せるが非常なる盛況を極めたり

【大邱】▲慶山地方經濟況　慶山地方は漸次農繁期に向ひ農家一般は是が準備をなしつゝあり市場は餘り人出多からず籾六圓玄米十二圓十五錢大麥五圓五十錢小麥八圓六十錢大豆八圓六十錢の相場にて一般金融は概して緩慢の兆あり金利普通內地人間二步五厘鮮人間三步を示せり▲慶山普通校開校式　慶北慶山普通學校にては二日午前九時より開校式擧行入學者四十名の豫定なりしが志願者六十餘名に達したれば四十五名の入學許可をなし孫慶山郡守の告辭鈴木校長の訓示等ありたり▲學校組合起債認可　大邱學校組合には曩に第二小學校建設費三萬五千圓の起債認可申請中なりしが今回起債額を三萬三千七百圓以內とし認可さる▲小學校入學式　大邱公立尋常高等小學校にては二日午前十時より入學式を擧行せり▲女學校入學式　大邱公立高等女學校にては二日午後二時より入學式を擧行せり入學生徒一學年五十三名二學年二名三學年五名なりと

人事消息

▲林茂八郎氏（前大日本ビール京城出張所長）五日夜行にて新任地福岡支店へ赴任
▲河內鋼太郎氏（河內鐵工所主任）四日朝入京
▲橫尾儀太郎氏（日本興業社員）四日朝退京
▲安倉三吉氏（大阪朝日社員）二日夜退京
▲井上圭祐氏（全北道事務官）三日朝退京
▲岸勇一氏（元山府立醫院長）三日夜退京
▲深川傳次郎氏（新義州府尹）四日夜退京の筈
▲小林藤右衞門氏（鑛業家）歸途奈良に滯在中の處三日夜歸京

逐鹿夜話

▲憲政會の前代議士小林勝民君は解散當時から大々的運動を開始した處が運動員の大半が選擧違反で檢擧せられて大弱りとなつた之れを見た妙齡の妻君が此處ぞ夫君の一大事とけなげにも早速千葉に赴き戶別訪問やら手紙の代筆やらを懸命に勤めて日夜の別なく働いて居る相な勝民君も大に力を得て茲必死の運動をやつて居ると　持つべきものは女房なりけりだ

▲江間俊一君は氣合術の宣言書は二三日以前やつと出來上つた其れが又た曰く江間君式を發揮して居るから面白い江間君は歌が上手で雷鼓の道にも長じて居る踊りも出來れば彫刻もやるそれから禪の場所で氣合術も出來ると過去の政治的活躍を列記した素敵なものだ

▲金澤に於ける永井柳太郞君の活躍振りは飽迄も君一流を發揮して居る三月卅一日午前九時齋戒沐浴して先づ前田慶寧公の墓前に跪き嚴に尊王討閥の祭文を讀み上げ次で全市に亙る君の推薦者一同代る〳〵墓前に禮拜し歸途島田一郎の墓詣りをして愈々軍容を整へた此永井式行動が忽ちにして全市の評判となり其晚開いた蓋明けの演說會は非常の人氣を以て滿場立錐の餘地なき程の盛況を呈したさうである

▲西多摩は青梅の有志が會合の席上金澤の選擧の話が出ると『一つ三多摩の意氣を示すため永井應援に行きたいが、こつちも手を離せぬから、旅費を送らうぢやないか』と一決し即座に五十圓を送つた、處が、之れは過日島田三郎の政友會攻擊演說に感奮した結果だとは、言論の力も豪いものだ

▲福島縣若松市から國民黨を標榜して起つた渡邊鼎氏は老齡七十に近い無髯童顏の候補者而して其運動者も揃ひも揃つて皆六十以上の老人許り『どうしても大正選擧運動らしい氣分になれなかつた』と實見者の話

▲追々舌戰期に入つて來たが各派とも應援辯士の拂底には餘程困つて居るらしい中には出入新聞記者に因果を含めて應援して貰つたり或は辯士拂底を見込むで設けられた何々會とか云ふ政黨には何の縁故もない靑書生輩に賴頤して地方の選擧民を驚かして居る是等辯士の日當は憲政濟美會や憲政會では市內一日三圓市外汽車賃の外十圓で政友會は市內二圓市外汽車賃の外五圓だと云ふことだ

●春光、翠に映にて

♣最う今年で植ゑる場所が無い

神武天皇祭當日の記念植樹

總督は松苗數株=政務總監の植樹

總督府の第七回記念植樹は春風駘蕩たる神武天皇祭の朝より開始

◻場所は例により老人亭東側の峰つゞきより奨忠壇に降る傾斜面である、此の日長谷川總督は老人亭入口から自動車を乘りすてゝ

◻佩劍をのどかなる春光に光らせながら釜屋、高橋兩武官から齋藤、大島兩副官を随へて山を登つた、斯くて山巓の大國旗を交叉した

◻天幕の下の其處此處には、胸に徽章を附けた山林課の世話役から總督府の高官及び朝鮮貴族などの姿が見ゑて何れも手に手に鍬を持ちつゝ苗木を植ゑる、唯見れば

◻總督は自ら鍬を持ち數株の松苗を植ゑられつゝあつた、山縣政務總監も亦山高帽に外套姿で土を掘り、國分長官、宇佐美長官なども亦

◻熱心に植樹した、係の人の話しによれば今年の植樹は赤松、黒松、櫟の木の三種、數は取り混ぜて五千二百本である、それに附近の第一回に植ゑた松苗は最早や

◻一丈餘の高さにのびた、植ゑた人の長へに南山の翠深かれと祈る心は芽出度く叶うて二回も三回も四回も五回も皆よく育つた、南山の土質は花崗岩の崩壊したもので松には最も

◻適當なところ、最早や今年で植ゑる場所が無くなつたので來年からは遠方へ出かけなくてはなるまいとのこと、總督は天幕の裡で秋山大將と

◻打語ひながら午前十一時半山を降つた、第二號の天幕には田中山林課長夫人を始め可愛らしい坊ちやん嬢ちやんの姿が見ゑた、日は暖かく

◻小鳥の囀もうらゝかに跳らへ向きの植樹日和!!昨年の此の日は大風が吹いたのに……

（上）長谷川總督鍬を持つて植樹のところ（三日午前十時半老人亭の山にて）（中）天幕の裡の秋山大將、國分長官、久水外事課長（下）老人亭記念植樹の婦人たち（田中山林課長夫人、本間夫人、宇都宮夫人、今野夫人等）

♣眺望の好い小山で記念撮影

京畿道廳員五百餘名は津天山に

京畿道第七回記念植樹は三日盛挙に津天山の道有林にて擧行された春四月のうら暖かい

◐日光を浴びて木の梢も嬉し相なそよぎを見せて居た津天山は仁川水道水源池の西方に在る小高い山である漫々たる漢江の碧い水赤い鐵橋白い砂ころ〳〵した物を遠近に眺め眼界濶然として誠に眺望に富んだ所である

◐頂にはテントを張つて式場に充て植樹地には標識の旗を豫め部別に區域を定め其々標柱が樹てゝあつたかくて十時半頃ともなれば參集するもの約五百林業員の案内にて黒松以下約千五百本一人

◐平均二三本宛を鍬を揃へて植栽した、柔かい南風に土が薫る

♣石塚總裁先づ上著を脱いで

松亭里高丘にて東拓の記念植樹

東洋拓殖會社では三日午前九時半から鷺島出張所から約十五丁を隔てた松亭里の高丘一町歩の地を卜して同社創立後

◻始めての記念植樹を行つた、石塚總裁、川上、高瀬の兩理事各課長等の幹部を首め社員全部

◻約二百名は電車で現場に赴き鷺島出張所管內の移民及び鷺島面の朝鮮人約百名之れに加はり松

◻一萬二千本を主として落葉松、栗、櫟各五百本宛の植栽をした、石塚總裁先づ上著を脱ぎ捨てゝ

◻各社員も負けじと之れに續く、元氣に任せて掘り返し植ゑつけてゆく程に約一時間も經つたかと思ふ頃にはその

◻大半を植ゑ了して終つた十一時過ぎ一段落ついた時に一時休憩して食事に移り野外に設けられた天幕小舍の中では薩摩汁、ビール等の振舞があつて

◻午後から更に元氣を回復して二時までに豫定の植樹を了つたが來年からは更に一層盛んに遣るさうである

どんよりとした春の日影は地の底迄も滲み込む樣に暖かい、此所で一同記念の撮影を爲し祈詰の斎食を終つてからは面白い蓄音機や角力の餘興水道觀覧等に打ち興じつゝ此日の

◐榮ある植樹を既願せぬ者は無かつた、——因に當日の主なる參加者は松永道長官、隈部警務部長、會參與官、入澤第一部長、今村第二部長、谷係主任、趙子爵、嚴俊源、洪始興郡守、永登浦小學校、同普通學校恩露學校等であつた

♣乙女たち、笑ひ興じつゝ

高等女學校生徒は光熙門外に

三日の朝、京城高等女學校生徒七百名が學校林として指定された光熙門外の墓地附近に向つて學校を出たのは九時頃だつた、前日

◻入學式が濟んだばかりの一年生二百名が加はり然かも紋付などを著込んで來た生徒があつたので頗る賑かで九時半頃

◻光熙門へ著くと二萬四千坪の土地に一年生は赤二年生は青三年生は黄四年生は白といふやうに旗を立てゝ區劃し四組に分れ袴の裾を

◻高く褰げて先生と一緒に櫟、松などを一人が二本づゝ已に掘つてあつた窪地の中へ植ゑては柔らかな土を掛ける、元氣盛りの少女達が笑ひ興じながら一本一本植ゑてゆく內に千五百本に近い樹は

◻瞬く內に植ゑられてしまつた、全く植ゑ終つて山の上に設けられた手洗所で泥塗れになつた手足を濟めて思ひ思ひに別れたのは十一時頃だつた

京城高等女學校生徒の植樹

●列車の顛覆を企つ

軌道に太き枕木を横へて

後藤內相は目下東北地方行政視察中なるが四月一日午後同相の搭乘列車進行中軌道に太き枕木を横へ顛覆を謀りたる者あり內相には何等事無かりしも警戒と共に目下犯人嚴探中なり（東京特電）

●出火三件

三日午後十一時五十分京城櫻井町二丁目七六金鉉盛（三）方にて妻晃姓女が洋燈を點火したる儘就寢し温突の貼紙に延燒して大事に及び隣家李召史方にも延燒し二戸一棟温突六間を燒失したるが常備消防出動手時半消止めたり損害約二十五圓▲三日午前十一時四十三分光熙町二丁目纐纈織工鄭興柱方より出火し藁屋根を燒失したるのみにて同十一時五十五分鎮火す▲三日午後六時敦義洞九二朴春成方溫突の焚口にて松葉に延燒して發火したるも家人が消止む

●西本願寺紛擾落著

西本願寺紛擾落著し松原深諦弓波瑞明足利瑞義三氏執行に任命され名和淵海師は顧問となれり（大阪特電）

▲近松尊定師 西本願寺管長事務取扱六雄澤慶師は顧に依り三月二十九日解職となりたるに就き文部省は近松尊定師の管長事務取扱就任を認可せる旨二日公示せり（東京特電）

●村民千二百餘名の大爭鬪

學校問題から二派に分れて

三重縣多氣郡三瀬谷村民は學校移轉問題にて二派に分れ確執し二日村民千二百餘名は二手に分れ鉦太鼓を鳴し得物を携へ一大爭鬪を始め負傷者を出し郡長調停中なり（大阪特電）

●八歳の少女を誘拐す

大阪北區堂山町青物商河野源藏二女はる（八）は西野田橋本正武（三〇）の爲めに誘拐せられ夜道西市中を引廻されたる上三日朝に至り發見されたり據本は傷害罪强姦未遂罪として取調中（大阪特電）

●紀州名物の大楠倒る

紀州和歌山公園に在る八十年以上の大楠は根元より倒れ名物を失へり（大阪特電）

●「カビリア」は愈々六日から

天活辯士長來京

伊太利イタラ會社の傑作寫眞たる羅馬史劇「カビリア」は愈々來る五日寫眞到着六日より晝夜二回有樂館に公映する事となれるが同寫眞は十二卷に亙る

◆長尺なるに加へて說明辯士の修辭、節語如何によりて觀覧者の興味を左右する事最も多きを以て同館にては今回特に天活辯士長として阪神間に知られたる宮原保を聘し同館專屬洋劇部主任澤田半晚南郷公利と

◆交代にて雄辯を試むべし、然かして同寫眞入場料は普通一等二圓二等一圓三等五十錢なる當日本紙讀者にして本社より配布したる優待券を持參の向きに對しては優待券刷込みの如き特別割引あるべく尚ほ普通入場券は同日同館入口にて發賣す

◆混雜を避くるため大阪屋號書店うつぼ屋書店、早川演藝部本店にて賣り出す由にて軍人學生は普通入場料優待券共半額にすべしといふ

◎曹洞宗の達磨忌 五日午後八時より若草町曹洞宗別院に於て達磨忌の法要ある由

商況

債券現物特電

公債直取引

深川在米特電

東京期米特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●棒鐵類暴騰

●本邦製鐵丸物に壓比し吸集に腐心

●氣勢を擧げ始めて十圓方の暴騰

同一步調

●洋釘又々値上

●五十錢の値上

●持品手薄

●豚皮更に昂騰

●五十錢三吋二十圓

●六掛內外の廉價

●軍帽の裏滑り

●木材の輸移入

方の騰貴

急に約一割五分

●亞鉛線細番不味

十番線錢方の低落

又五十

●瓦は拂底す

一枚三錢二厘

●新製品出廻

今月中旬以後

●石灰は强硬

一俵五錢

●朝鮮産の値上

炭價の關係

內地物

●鑵詰鳳梨昂騰

一打入にて八圓

內外に上

●農蠶具賣行好

一枚四十五錢

約五萬枚內外

●帚立枚數

●糠は引戾す

地場需要追々

好況 三四錢方

●北海材

●旺盛依然支那需用

●豆滿江材

引合不

㊙森仲買店 仁川米豆取引所仲買人

京城正米

移出口の注文入

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山穀物（二日）

釜山水產市場（三日）

仁川期米

●四日前場

大阪二節十六圓九十九錢と小安き移り

兵庫前寄十六圓六十九錢

大阪七節九十二錢

●安移り

市場零聞

▲保合小堅し

內地期米の形

㊂三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人

仁川米豆取引所

四日の六月限

●前場の手振

●氣迷ひ生ず

●巨額と變質期に接近

見詰買の外なく在米の

勢及正米界の情勢より

▲能く賣る

⊕能く買ふ

㊅の商內

㊄の商內

㊃の商內

▲在庫品調査

▲在米激增す

○七叺を激增

四萬三千四百

▲中限頭重し

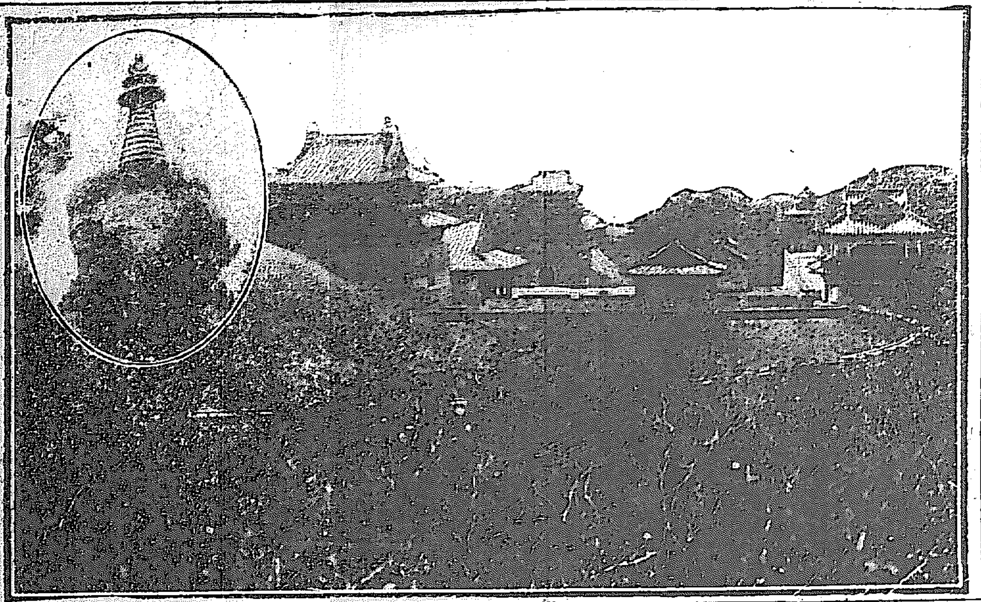
更に增加の趨勢

●正米の緊り

居るに反し未だ受腰の

定まらざる

㊅大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人



滿洲視察寫眞帖(三)(奉天北陵と西塔)

◇北陵は昭陵と稱し[illegible] ◇北方一里[illegible] ◇西塔を[illegible]

僧俗一萬餘人の大饗應

土産は僧侶に『聲明本』信徒に『常葉袋』

文句佛上人が「鬬に似よ鶏に似よと育てんか」と衷心から口誦さみ多年欽愛の心盡しも甲斐ありて、干しく東本願寺第二十四世の法燈を繼ぐべき新法主となる

▽一世一代の得度式も麗らかな春一日を無事に済んで、二日は午前八時から大寝殿で僧俗一萬餘人の大饗應が開かれた。各間五百疊を通しに明け放して

▽正面には金屏風をたてめぐらし、上段には翌日の饗の御膳露度の数々が飾り附けてある。僧侶を上座に十行に列並ぶと、法嗣光暢師は白道服に三緒袈裟を装束して

▽上段の褥に新僧形端然として着座された寺務所重役が進んでお膳を据ゑると、門末への挨拶は前夜済んで居るのでここでは何の辭もないが、随喜の思ひに仰がれつゝ

▽杯を手にし箸をも執つて程なく退いた。すると一同へ長柄の銚子で御酒が酌まれた。御馳走は二汁の折詰の外に焼物、吸物などであつた。皆は土器へ受けた

▽酒と吸物ぐらゐを吸つてあとは國への土産の随一にするので膳が割合に早く運ばれた。土産としては僧侶に『聲明本』信徒に『常葉袋』や扇子などがある。饗應五千の豫定が丁度倍に殖たので少し無理だが

▽八百人宛を一廻に立ち代り入れ代つて一日中に済すことになつたので百五十人の配膳役も足が棒になるほど忙しい。光暢師も朝から晩まで相手變れど主かはらずで、十數回

▽出座して同じやうなことを繰返されねばならぬから仲々並大抵でないが、終日終夜の儀式法要に疲勞の色もなく始終沈着に健氣な風を見せて門末には何よりの土産であつた(大阪支局記者)

凄慘なる革命の光景

露都に於て前後實見の記

三月二十日 小田柳翠

三月二十日、今秋の所謂ペトログラードの街は到るところ赤旗が翻り街路往來の市民、軍人、學生、勞働者等は男女を問はず胸間に赤布を着け居ます。多數の大學生は臨時巡査の任務を帯びつゝ左腕に『ケーエム』の二赤字を書ける市三寸ばかりの白布をまいて居ます。これ等の大學生の巡査は食料品買入れの世話を始め一般警察事務に從事して居ます。これまで缺乏を極めた各食料品は其の後著しく潤澤となり價格また非常に低落しました。一時運轉を停止して居た電車も汽車も開通し電信電話も二三日前から復舊しました。猶任部下の各新聞も一昨日より發行され、勞働者も再びその職に復し殆んど

◇革命前の平穏に 歸しました。露西亜の國民は此の革命を非常に悦んで居ます。現に莫斯科では市民が祝砲を發して歡喜したといふことです。併し三月八日大革命の勃發した當時の慘状は實に言語に絶した凄慘の光景でした。八日から起つた官兵と勞働黨との小衝突は殆んど三日間市街の各方面に於て行はれ十一日の日曜に至つて政府側の警戒はいよ〳〵嚴重となりました。其の爲め市内の要所〳〵には着剣せる兵士が各二三小隊づゝ各所に配置せられ電車は總て運轉を中止し街路は物々しきコザツク

◇騎兵の長槍のみ が徒に紫電の如く閃いて居ました。そして時折深夜と言はず黎明といはず市中に當つて遠く近く豆を炒る如き銃聲が聴ねて來ます。勞働黨と官兵との衝突はいよ〳〵猛烈を加へて來るのであります。恰度私共の宿のズナメンスカヤ、ホテルから薄氣味惡くのぞいて居ますと表の廣場には約三四十名の男女が官兵の一齊射撃の爲めに打ち殪れて居りました。かくて十二日の未明より革命の火の手は益々盛んとなり俄然プレオブラヂエンスカヤの一兵營は兵士の全部が革軍に投じました。それで

東拓職員の植樹

◇日本大使館に近 き砲兵工廠は革命軍の爲めに兵器彈藥の徴發にあひ勞働黨に與する市民は老若男女の別なく手に手に銃劍を把つて赤旗の下に對陣しました。あゝ!!リテーネ橋畔の凄慘なる此の市街戰!!私はその時の感慨を忘れることが出來ません。高田商會主任牧瀬豊彦氏が流彈に中つて悲慘なる最後を遂げたのも實に此時でありました。かくて市街の随所に演ぜられた市街戰はいよ〳〵革命軍の勝利に歸し遂に

◇破竹の勢を以て 官軍を破り兵器彈藥自動車等何れも革軍の有に歸し了りました。殊に猛烈なりしはズナメンスカヤの大廣場に放列を敷いた自動車の装甲機關砲と機關銃七發の活動ですそれが群がる官兵に發射を加へたのは地獄の慘状もかくやとばかり慘絶の極みでありました。殊に最も私の印象に深き光景は多數のロシヤ大學生が戰闘に參加し兵士勞働者を指揮して居つた光景と議會の外部を警戒せる女子大學生が固めて居た事でありました。あゝ!!笑つて赤旗の下に斃れた革命の犠牲者!!私は露西亜に來てから猶一層謎のやうなスラブ人の頭がわからなくなりました

蒸灸

高野山高祖相傳派岡本一信法師出張

四月五日より二十五日迄毎日午前八時より午後四時迄

京城本町三丁目(黒龍亭)於樓上廣間執行

七十一の高齢で滿洲行

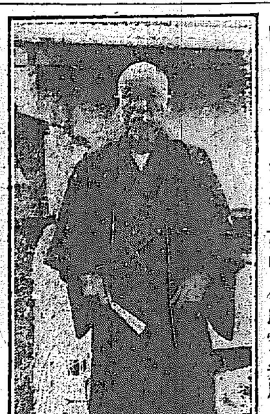
▽南北滿洲視察團の好人氣
▽京城以北の人々の盛な申込

本社主催の南北滿洲視察團は時節柄全鮮到るところの人士に歡迎せられ湧くが如き人氣を以て迎へられつゝある、殊に

▽地勢上 京城以北の人士は最も此擧に賛同されて平安南北道の廿四名をはじめ平安南道參與官張憲植氏、黄海道參與官金氏等の人々も參加される、猶ほ平壤の有志は頗る此の擧を壯として視察團同地通過の日は一同停車場に於て盛大なる歡送迎に努め、麥酒、水菓子の寄贈の他に[illegible]

▽煙火を 打ちあげて團員と挨拶の交換が行はれる、殊に今迄の申込者中最も異彩を放つて居るのは龍山憲兵隊側の岩田吾朋老人である、岩田老人はこれまで本社主催の視察團といふ視察團には何度缺かさず參加する人、曾て青島行きの際にも團員中の最高齢者と推されて到るところ若い者跣足の

▽大元氣 であつた其の後元山行きにも平壤行きにも何度も必ず參加して這回の滿洲行きにも七十一歳の高齢で押し出すといふ大元氣『朝鮮に居る以上、お隣りの滿洲を視なくては……』となか〳〵の元氣、病氣は若い時役所に勤めて激飲と申すものに取りつかれて以來他に一度もかゝつた事がない、尤も其の際には二百本ばかりの



▽茄子を 搗つて働いた爲めにすつかり治つたが人間は働らきさへすれば健全になりますとニコ〳〵する、醫業は活花の宏生流の家元目代職で京龍間に三百餘人の門弟がある、老人の朝鮮に來たのは娘さんが鐵道局の官吏の奥さんといふので暇々ながら遊びに來たが、それなり

▽朝鮮が 好になつたから腰を落ちつけたとの事……這回も南北滿洲視察團の元老として大に一行中に持てるとであらう(寫眞は鳳眼齋岩田老人)

讀者文藝(一等には五十錢の圖書券を呈す)

▽下句付『腹の立つ』

○腹の立つ程にお灸の効目なし(一等) 京城 初孝

△……時の笑顔もなさぬ中 京城 苔水

△……度にあの手でいじめられ 京城 蝸碩

△……素振を見せぬ苦勞人 龍山 乃美

△……戀文だけ親の前に出し 龍山 小草子

△……時は[illegible] 龍山 夢丸生

日演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三

日本商事活動寫眞株式會社朝鮮代理店 三月三十一日より特別大興行 [illegible] 連續大活劇『第五快漢ロロー』 [illegible]

明治町 浪花館 電話一二六〇

○東京大阪落語若手揃大一座來る 演題 △浦島(二勝) △羽衣女郎買、曲手踊(新朝) △池田猪買(ひさご) △天女道樂 三府浮世節(歌女) △危険剤 落語 手踊(歌輔) △落語(圓輔) △三十石夢の通路(里勢) △大切滑稽掛合劇『松竹梅』

京城壽町 壽館 電話一〇〇三

東都女流浪界の横綱京山愛子一行 四月四日(二日目)讀物 △梁の大刀風(愛光) △己が罪(愛花) △孝子萬兵衛(愛奴) △岩見武勇傳(愛助) △徳川三政談(武蔵家京枝) △餘興 八十五歳老婆 天下三馬術(巴里) △村松三太夫、北川戸助六(長講二席京山愛子)

御成町 御成座 電話一一九一

第三回 (一)血達磨殿 全六場 (二)喜劇 銀 全二場

京城本町一丁目 有樂館

早川演藝部直營 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 ◎開館第二次特別大興行 [illegible] 教訓お伽活劇喇叭太郎 [illegible] 女の半生 [illegible] 御用の方は電話五九一番へ御申込あれ

京城壽町 壽座 電話五七八番

曾我廼家蝶島會一行 四月五日より第六回替り狂言 第一 結婚會社 一場 第二 人の影 三場 第三 櫻ふくさ 二場 第四 番廊道引 入場料 ▲一等七十錢 ▲二等五十錢 ▲三等三十錢 小供廿錢

陸軍少將 山形閣下

今回滿期退職歸東せらるゝに付送別會開催及紀念品贈呈致候間御賛成被下御出席の方は六日迄に京城南大門前松原會へ御申込相成度

▲送別會は四月七日午後正七時京城南山町松葉亭 ▲會費金三圓當日御持參の事

▲紀念品贈呈は十日迄に金五十錢以上任意松原方へ御送金の事

大正六年四月三日 福井縣人會

購買 玄米 龍山陸軍倉庫 詳細ハ四月五日以降朝鮮官報ニアリ

轉居 高山孝行 京城吉野町一丁目(元白川組跡) 電話二六五一番

わきが にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方はファーサーを御用ひあれ 藥價六十錢 一圓 京城黄金町三丁目 電話二九四九 山田文泰堂藥房

りん病七日藥 山口藥院

增田本店

M印 品質本位

質 堀佐營業所 京城黄金町二丁目入(水樂館停留所北) 電話六三九番

アナタの胃病には 錠 消化 胃 強 八木田醫學博士處方 マーゲン 島田藥學博士鑑査 大阪東區上本町五丁目富田畑保藥房

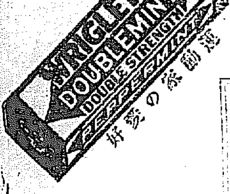
內外科 小兒科 花柳病科 入院隨意 京城長谷川町 安東病院 電話七三番

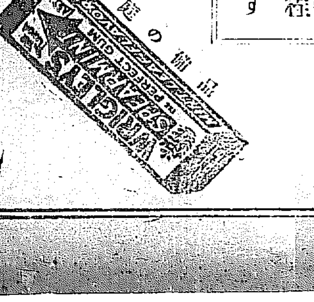
米國ヴリグレース會社
朝鮮總代理店
チ＝ウ＝イ＝ン＝ガ＝ム

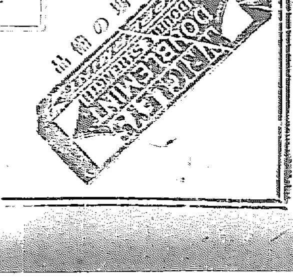
長く噛んで居れば美味で清涼の甘露いつまでも噛む程滾々として盡きず

消化を助け口中を清涼にし渇を醫し齒を強壯にす

京城貞洞二十五番地
ジヨジ.アール.アーレン商會
長電話二九三八番◦私書函九番







明君道中記

第百五席 田邊南龍口演

本多上野介正純が謀叛を企だて、宇都宮で十八萬石の家を潰しましたが不思議なもので徳川家康代に十八萬石の家が全うしたのはございません、先づ出羽の最上で十八萬石、最上源五郎の家が潰れた、讃岐の國丸龜で十八萬石、生駒讃岐守の家が潰れ、播州姫路で十八萬石本多大内記の家が潰れる、下總佐倉で十八萬石堀田上野介の家が潰れ野州の宇都宮で十八萬石の本多上野介の家が潰れました、何う云ふわけで十八萬石の家が悉う潰れたものでございますか妙な理由で、處で此の本多家が十八萬石になりましたのは是は父の本多佐渡守正信と云ふ人が一代に取立てたものでございます、此人は家康公の相談相手で徳川の古狸、家康の懐中刀と云はれた方で、關ケ原大阪の戰も皆此人の胸三寸から割り出したと云ひます、其のくせ恐しい臆病者で、戰場へ出ても何んの功もありません、元本多彌八郎と云つて松永彈正久秀の家來であつた、久秀が常に云つたのは我には右に本多彌八郎左に白雲の名釜ありと云つて自慢をしたさうですが、久秀が切腹をする時に信長に渡はすが殘念だと云つて白雲の釜を砕いてしまひ、それに此の後此の彌八郎を宜く使ふ者が天下を一統するであらうと云つたさうですが、果せるかな徳川家康が彌八を見出して宜く使つた故に天下を掌握したのでございませう、此の人の弱い事で聞いたのは姉川の戰場でございます、元龜元年六月廿八日江州坂田郡姉川の戰は織田徳川淺井朝倉の四家が入亂れての戰ひ、此時家康公本陣にあつて彼を御覧になると本多彌八郎は蒼白なつて慄へて居る、家康公これを見て『コレ彌八』彌『ハ、』家『今日の戰ひは天下別け目の一戰、汝も徳川の旗下本多彌八郎とも云はれたものが何んの功名もなければ後日に口も利れまい、先手へ參つて良き首にても拾うて參れ其方の功にして取らせる』彌『畏り奉る』と彌八郎仕方がないから本陣を出て、先手の方へ參りまして戰場の有様を見ると砂煙を立つて敵味方、死生知らずに戰つて居る、彌『オヽ大變な有様だ、何も斬つたり擲たり、此騒ぎをしないでも相談づくで何んとか穏りさうなものだ』相談づくで戰れば戰なぞをする者はございません、彌八郎は宜き首が捨てあつたら拾はうと彼方此方を見廻つて居る、處へ砂塵を蹴て一人荒武者馬にて飛んで來た、身には黒糸の鎧を著し五枚錣の兜を頂き、黒母衣をかけ鹿毛の馬に打跨り槍を携げてそれへ參り(○)ヤア〱 それに控へたは徳川家の侍と覺ねたり、我は淺倉の身内にて黒母衣組の一人上原五郎八と申する者である、イデ見參いたさん』と呼はつた時に彌八郎は吃驚仰天、物をも云はず逃げ出す。是を以て五郎八大いに怒り五『ヤア名前も名乘らず逃げ出すとは卑怯な奴、イザ悉うしてくれん』と追蒐け來つて五郎八が持つたる槍、石突にて後より突いた彌八郎はそれへバッタリ、倒れる起上らうとする所を五郎八馬より飛下りて取つて押へ、短刀を拔いて首を切らうとするから彌八は驚き彌『アイヤ暫く、拙者は徳川家で名代の臆病者、手前の首を取つた所で功名にはなりませんから何うかお助け下さい』五『イヤ敵とあらば助ける事はない』と無理に押へ付けて首を掻うとする彌八郎はモウこれ迄と思つた故に大聲を上げて彌『ヤア〱本多彌八郎が一世の大難に出合つたり、味方に人は無きか、誰か助けてくれ人殺しだ〜』と怒鳴た、戰場へ出て人殺しと云ふ者もないものでございます

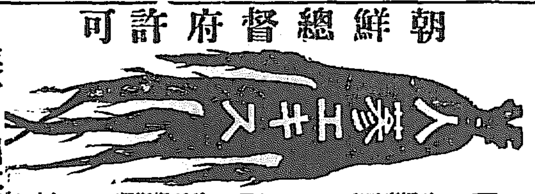
淡尿器科 外科一般 皮膚科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

宮内省御用達 最上清酢
登録商標 MARUKAN
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油株式會社京城出張所 電話二四五番

四月六日 九星
舊暦二月十五日 戊寅
本命九紫 南閉佛滅

▲九紫 大褒奨なるかけ引事有る日 新規見合東方は吉略剣南 ▲一白 利を逸する事有る日 新事手控祈禱は吉 一切のかけ事を禁す ▲二黒 有乃の日 婚居入學金談名弘深 鍼灸 投薬 合交築等皆吉 ▲三碧 大業成就の日 轉居入學金談名弘醫始求職 結婚 證試驗を受る等萬吉 ▲四緑 用意周到の日 轉居入門金件名弘求職 出漁 縁邊取等萬吉 ▲五黄 目的の果つ日 轉居入學金件名弘求職 婚禮 履入 縁出 榮等萬吉 ▲六白 爲のとげぬ事有る日 新事手控 蔑事は吉 女子に辞されぬよふ用心の事 ▲七赤 謙遜主義の事有る日 新事手控祈禱は吉 甘き相談に乘る勿れ ▲八白 理想を達る日 轉居求職入學名弘金件縁組建築訴訟の和を計る等萬吉

朝鮮總督府許可



內用 精效能 神經衰弱、老衰、痔病、胃腸病、子宮病、肺病、營養不良より起る諸病の滋養强壮劑なり
外用 精效能 神經痛、痳痺、凍傷、火傷、打撲傷、切傷、腫物、肩凝、蟲に螫れたの時の張れ等によし
定價 六十錢 三十五錢 二十五錢 一圓二十錢 …

人參直取引大販賣所
滋養藥 人參エキス
朝鮮名産 人參 一切
京城本町一丁目 製造本舗 津村兄弟商會 電話三五一〇番 振替京城一四八〇番
京城本町一丁目 津村弟兄商會人參部 電話一八七〇番
支店 龍山支店 大邱支店 釜山支店
龍山元町二丁目 京釜線大邱驛前 朝鮮釜山大倉町 電話三九四番
其他全道の藥舗に販賣致居候 御注文次第迅速に地方は直接本舗に依る事最も安全可仕代金は振替に御一報次第御便利に配達候 本店支店共市內は

腦病良藥 レーベン

岡田博士を初め森、日向、飯島、稲田、内田氏等十有餘名の諸大家か有効證明或は推奨せらる、本品は營養劑の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病神經衰弱、頭痛、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試藥として本劑を服用あれ、レーベンは容積ミ体裁を害らず服用量極めて少くして効驗極めて大なり
藥價(三十錠)五十錢 (八十五錠)一圓六十錢
東京日本橋區蠣殼町 中南定太郎 電話京三〇八番 振替東京七七五番
大阪安土町堺筋 中南定太郎 電話本三〇七番 振替大阪三四四番
信用ある藥店に有り無くば直接注文乞ふ

朝鮮彙報

朝鮮彙報 大正六年四月號(定價貳拾五錢 郵稅二錢五厘)

主要目次

口繪 道路改修工事竣功の實景 漢江河岸造林地生育の狀況 全南順天郡曹溪山仙巖寺昇仙橋 黄海道戰寧鑛山採鑛の狀況 平北龍川郡耳湖浦大閘門通水試驗

□歐洲戰亂の朝鮮貿易に及ぼさる影響 …荒井度支部長官
□地方の保存と作物及勞力の分配 …中村總督府技師
□朝鮮の特有産たる畜牛の奬勵及之が利用工業 …宇野中央試驗所技師
□歐米視察談 …矢野稅關長
□山林警察私見 …隈部警務部長

行政 東拓移住規則の改正 ◎大正四年度臨時恩賜金地方費決算 ◎慶南行政區域名稱一覽表
財政及金融 大正五年麥貿易 ◎大阪對朝鮮貿易 ◎二月中朝鮮貿易 ◎一月中經濟概況
産業 大正五年麥實收高 ◎大小麥優良品種普及の狀況並栽培成績 ◎金肥生産額及消費額 ◎漢江河岸造林地生育狀況 ◎朝鮮林野主要副産物 ◎テウセンカラマツの播種と季節
交通及土木 仁川築港工事現況 ◎二月に於ける鐵道貨物狀況 ◎電氣事業經營及會社設立許可 ◎二月中鐵道運輸
司法及警察 痘瘡及種痘の狀況 ◎戰亂の醫藥品に及ぼしたる影響

□複式教授の實際 京城女子高等普通學校附屬普通學校
□鳳凰山浮石寺の保存工事に際して現はれたる古記録の歷史的價値(承前) …渡邊彰
□山人蔘採取狀況 …小泉總督府技師
◎外國事情 ◎地方通信 ◎雜報 ◎敍任及辭令
□學校組合一覽(大正五年四月一日現在)
◎統計 ◎法令及通牒 ◎判決例

▲投稿を歡迎す 原稿締切期限毎月十日
▲販賣店 朝鮮各地の書店にて販賣す
▲廣告料 一頁十圓 取扱店 京城 ウツボヤ書籍店

宮内省 皇后宮職 各宮家 御用命

きめを美くして日焦を防ぎ生々と若々しいお肌とする
—名實適ふたクリームの王—

クレームレートが▲分子の極端に細かいこと▲全く動物性脂肪を含まぬこと▲厭ふ可き臭氣絶對に無きこと▲不快なる粘り氣なく皮膚の表面を非常に爽やかにする等は他に絶した天下一品の特長で何んな荒性のお方でも本品を御常用になればお肌がツル〱と滑らかに艶々しくなりその上色を白く見せますので立派な完全な美顔術の自然に出來る男女缺く可らざる文明的美膚料であります

レート白粉 レート白粉 レートジエリー
本舗 東京 平尾賛平

營林廠木材販賣廣告

今回營林廠龍山出張所在庫品を三井物産株式會社に於て一手に拂下げ相受け是が販賣方は大二商會專ら其衝に當り諸々御便宜相計り販賣可致候間多少に不拘御買上げ被下度願上候

大正六年四月
京城黄金町 三井物産株式會社木材部
同 同 崎町 大二商會本店
龍山營林廠出張所構內 大二商會龍山販賣所

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

朝鮮特産 ワングル鞄

世の進歩に伴ひ現出せる本品は斬新上品堅牢革にも勝り價格廉なるを以て諸賢各様の大歡迎を受つゝ有り多少に不拘御購求を乞ふ

ワングル鞄製造一手販賣
京城明治町二丁目四〇 電話一八三三番 古賀喜營業部
京城明治町二丁目六 古賀喜鞄皮具製造部

學校用品荷揃 京城本町 シノサキ文具店

大日本優等清酒

品質純良 衛生無害
攝津灘御影町 醸造元 嘉納合名會社
京城本町二丁目廿番地 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

內科 胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院 電話一三九〇 二七二九番

京城日報

四月五日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五拾錢

發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

大阪期米　▲後場ノ勞　▲能く買ふ

實學主義の本義

朝鮮教育革正論（八）

京城日報

實學主義の教育とは何ぞや。曰く利用厚生の學問是れ也。曰く武物開務の學問是れ也。今日朝鮮人をして舊習の桎梏より脱却し、我が內地人と共同生活を營み、忠良なる帝國の臣民として文明の恩澤に浴せしめんと欲せば、利用厚生の教育を施し、成物開務の學問を興すより急且つ切なるは無し。

彼の泰西諸國を看よ。其の文物煥然として、所謂地に鋤痕なきは無く、山に斧鉞なきは無く、農商工藝、其の盛を極め、恰も春風淡蕩の候、百花爛漫として芬芳を發するが如き觀を呈するもの、其の原因を究むれば、一として實學に發源せざるは無きにあらずや。泰西人は唯其れ實學を勉め、空理に耽らず、生業を勵まし、自主を遂げんことを期す。其の勤勉力行の結果は、農商、工藝の進歩發達と爲り、文明に貢獻するに至る。其の基づく所は、實學を主とする教育に外ならず。實學とは、即ち利用厚生の學問是れ也。

支那に在りても、上古の文明は、利用厚生の實學に基けり。彼の所謂聖人が水、火、木、金、土、穀を化治し、正德、利用厚生の道を盛にするを政治の要項として之を九功と名けたるが如き、是れ也。支那人が今日に至るまで、唐虞三代の治を謳稱して止まざるもの、其故なきにあらず。但だ東亞諸國の民族は其の實理、實學の精神を實地に應用することを知らず、五行の說、性理の學に汲々として、九功を五里霧中に葬り去り、東西の文明をして、其の進路に於て、天地隔絕の差異を生ぜしめたりし也。

利用厚生の學、東西豈に其理を異にするあらんや。東亞の民族、其理其術を知らざるにあらず、但だ其の天賦の豐饒なるに甘んじ、人力を以て天然に勝つことを工夫せず、國民的放心、國民的懶惰の間に二三千年の長日月を看過したり。之に反して泰西の人民は、刻苦孜々、一に人力を以て天然に勝つことを努め、理化、重の三學に基つき、力を省き力を集め、力を分ち力を均うするの術を工夫し、利用の功を積て今日の富強を致しゝ也。東西文明の差異は、畢竟するに、唯た勤と怠、實行、勞力を吝むと勞力を吝まざるとの一刹那に過ぎずと謂ふも不可なるにあらず。

然らば則ち今日東亞諸國をして泰西各國と對峙して其の文明を同うし、其の富強を均うせしむるの道は、唯だ實學を興すに在るのみ。朝鮮人をして精神的に復活し、日本人と同じく文明國民の品位、資格を有し、世界に闊歩せしむるの道は、朝鮮一千年來の病根たる形式的教育の積弊を根本的に打破し、實學教育の大本を確定し、利用厚生の道を實地に應用するに在り。

露國政變當時の狀況

海軍中佐　米內光政氏談

海軍中佐米內光政氏は我海軍省より露語研究の爲め露都に在學を命ぜられ數年同地に滯在今回の露國政變當時に親しく觀察したる狀況を復命すべく歸朝の途にあり記者は田中大佐の紹介を得て新羅丸船上にて政變當時の狀況を聽く（釜山）

露國に於ける今回の政變は官僚政府の抑壓に對する國民積憤の勃發に基きたるは爭ふ可からざる事實にして開戰以來首相を代ふること四人最初ゴレモイキンよりシチルモンに至りしが同氏は窃かにストックホルムに於て獨逸の公使と密會したることあり次いでトレモフ首相は豫て獨逸に對し接近の形跡あり最後のガリチンに至りて

△露骨に或る計畫 を實行すべく政策を採らんとせるに因り途に國民の勃發となり斯かる政變を觀るに至りたるものにして事の玆に至るは素より當然の結果と謂ふの外なく一般の國民に在りては久しく官僚政府の下に屈服し居たる痛苦を脱出し國民の權利を伸張し得可き新政體の發顯せられたるを國家の爲め祝すべく心理の變化を來し神に誓ひて優勝なる戰果を收むるを得べしと歡喜し居れるもの、如し現に革命勃發の際は革命派に依りて印刷せられたる新聞紙を數臺の自動車を馳せて市內に散布せし際の如きは市民群集し之れを得んと爭ふて騷擾し負傷者を出したる狀況にして同

△新聞紙の一葉を 得るも容易のことに非ず當時は一般新聞紙の發行は印刷職工の罷工に依りて發行し居れるものなく只革命派の撒布新聞紙に因りて政體の成行を知るの外なき有樣なりし玆に政變當初よりの予が見聞の大略を語れば奈何に國民が舊政府の採りたる官僚政治に嫌然たりしかを推知し得べし即ち二月十四日（露曆）舊政府の議會開會當日は下院に於て愈よ舊政府を倒壞すべき

△何等異變を見ず 越ゑて二十三日（太陽曆）に至り市民動搖の徵候を現はし『ブイホルク』區內のコブスキー街には市民群集し爲めに電車は運轉を中止し其他の各方面に多數群集の集會を見たるが將士は何れも舊政府たる官僚派と戰ふべきを宣し熱狂的に揮うて市民を鼓舞し居れるも警官は群集を驅散せしめんと努力し居たるも更に効なく然るに廿四日は遂に各處に於て警官と人民との衝突を起し少なからざる死傷者を出せり二十五日は全市の商賈全く休業し諸工場の職工は作業に從事するものなく諸の事務所は閉鎖し新聞は

△總て發行を停止 せり斯かる狀態なるを以て各學校亦休校し市街は市民の群集に滿され市民と警官の衝突を爲すこと頻繁なり夕刻に至り市役所附近に於ては市民側の死傷者無數にして形勢益々險惡となり殊に勞働者の一團はネプスキー街に集まり漸次ニコライ停車場前の廣場に移りし際は大集團となり交々壇上に立ちて政談演說を爲し暫時政府たる官僚派を攻擊熱罵す警戒の哥薩克兵は蝟集せる群集を解散せしむるとなく共に演說を喝采傾聽し居たり午後四時過ぎコンチャー街に於て警官騎馬隊とコサック騎兵と衝突しコサック騎馬隊士官は拔刀を揮うて警官を斬倒したるを見たり隊長

△騎馬隊に斬り入り 警官側は忽ち敗走し市民はコサック兵を取卷きて歡呼の聲を上げたり翌廿六日日曜日は市內目拔の場所たるネブスキー街、ニコライ停車場、サドーバヤ街、アサン寺等の廣場は哨兵を以て取卷き軍用電話、機關銃其他を裝置し市民と戰ふ可く準備を爲したり市民は旗旒到る處に集合して官僚派攻擊の熱辯を振ひ各處に兵士と市民との衝突を來し市民側の死傷者幾百名なるを知らず翌廿七日午前九時頃全市に亙りて電火の如く軍隊反亂勃興し午後一時半砲兵工廠、ペトロパーアルスキー砲塞は反亂軍の爲めに

△苦もなく占領され 市內の秩序を維持すべき反亂兵卒より成る巡邏兵出動し警察署より凡ての書類を持出し道路に於て斷火燒却しリトーフスキー城寨は大火を起して燒失し何者か地方裁判所に放火したる等全市騷擾を極め市民の驅騷するもの無數なるも軍隊は之等群集を制止する共光景頗る悽慘を極めたり當日は下院に於て臨時會議を開きたるに反亂せる軍隊兵士は下院に殺到し會議を無事終了すべき補助を爲さんことを申込み最初は士官を伴はざりしに其後は隊長及び士官は兵士の指揮を受け監視せられつゝある奇倒の行爲あるを見たり當日

△反亂勃發するや 直ちに近衛騎兵其他の軍隊を召集して鎮撫に從はしめんとせしに是等は反つて革命軍に加はり漸次各地の軍隊は續々首府に參集して革命軍に投ずるもの倍々多數に及び革命軍兵士は四日下院に於てルチャンコ、スコベレーフ、チヘーゼ、ミンコーフ、ケレンスキー氏等と會見し種々協議の結果以上諸氏に因りて政府を假に組織し各其職に就き秩序を維持すべき旨を誓ひ兵士等も過激に亙ることなく各其長官の命令に服從し臨時會議に信頼すべきを以てせり後ち各議員は兵舍を巡視し前同樣の言を以て兵士士官に演說したるに兵士士官は何れも異狀を呈して違背なきを誓ひ

△靜穩に各舍宅に 引取りたるが下院議員僧正ボポノフ民は手に十字架を持ち革命派に屬する軍隊の兵舍を訪ひ彼等を祝福せり玆に於て全市の軍隊は革命派に服從すべく宣言を了りたるを以て下院議長は直ちに露國皇帝及び艦隊司令長官に對し二十六日左の意味を具申したり

風雲急なり首府は反亂の巷となり政府は全く麻痺し運輸、給養、燃料は全然中止の姿なり一般不穩にして街路には無秩序なる發砲起り軍隊は相互に爭鬪し秩序全く破壞せらる健全なる國民の推薦せる人に對し一刻も早く新政府の組織を命ずること必要なり、猶豫することは絕對に不可能なり若し命令を猶豫せば破滅立處に至らん此責任は陛下の上に落ちざらんことを祈る、艦隊司令長官は陛下に具申すべき電報を致すに付き直ちに陛下の聖諭を得べく取計はれたし

との下院議長の發電に對し司令長官より『責任委任の件遂行せり』との電報に接したるも陛下よりの返電なきを以て下院議長は再び左の意味の電報を以て陛下の決心を促せり

風雲次第に急なり速かに處置あらんことを望む然らざれば明日既に遂行せんとす國民の運命及び王朝の決せらるべき最後の瞬間に到達せり

皇帝は下院議長に對しミハイロ、アレキサンドルウヰッチ大公に

△讓位の命を下し たるも下院議員の容るゝ所とならず遂に此後二個月內に露都に於て國民立憲大會を開き國體の意見を聽き立憲共和制を樹立すべきか又は君主立憲政府を組織すべきやを討議することを發表し其間に於ては既に諸新聞紙に報道せられ居れる下院議員十二名に據りて國政を見ることゝし一先づ假政府の組織を爲したるものなり斯くて革命の騷亂は一時平靜に歸し居れり向後の變動は今日推知することを得ず云々

故李埈公殿下 ―本日御葬儀執行

日報詩壇

○燈下水仙（限韻）　小永井槐陰
翠葉金英香壓蘭。讀書帷畔有更闌。孤燈影冷知聊甚。賴有梅兄語舊歡。
銀燭微明夜正闌。玉臺金盞不知寒。碧紗房裡香風暖。何羨春陽紅牡丹。
評曰　一寒一暖二首對照讀之有無限之趣

○謝贈梅花　古城　梅溪
滿城殘雪尚成堆。堪謝同人遠惠梅。惟有詩癯似仙骨。媿無拙劣報瓊瑰。
評曰　不多言處見眞情

○送高田小芥東歸　栗原　華陽
宦情已倦旅裝新。惜別社中奇骨人。領略雞林風月去。悠悠欲弄故園春。
評曰　三四贈言太妙

○春日坐雨　阪上　恰堂
讀了維摩心自閑。捲簾獨坐對南山。霏霏莫是催花雨。靜觀庭除綠草斑。
評曰　幽境閑情可羨可羨

○春雪（限韻）　望月　桂軒
飛來飛去淡兼濃。頃刻花開六六峰。多少梨園人倚檻。春寒長樂弱時鐘。
評曰　鳴渥雪中光景刻意描寫使人神往

○春日偶成　藤倉　藤蔭
東風習習促花時。郊外踏靑開覺詩。不管蒼然來暮色。歸鴉啼處步遲遲。
評曰　春遊實況

堂々たる陽春四月號の偉觀

（實益無限）**朝鮮公論**（趣味津々）

口繪六頁◆革命黨の首領……予曾　井上匡四郎◆大公の爲人

滿鮮の同胞に告ぐ……志賀重昂

■李埈公殿下薨去……春秋◆三十臺の男……去來
■朝鮮柞蠶有望論……板橋菊松◆白木蓮……角田不案◆去來の人……高木正人
■世界的飛躍の秋……花井卓藏◆安全結婚法
◆余が抱負と東拓の使命……石塚英藏◆芳川鎌子……板橋生
◆總督府官人論……有馬易水◆山縣政務總監◆白水孤峰將軍
◆總選擧迫る……迺吉◆福德物語……胡蝶◆原田朝郵社長◆同京城電氣專務

露國大革命を論ず（社論）

◆滿鮮大學閥……泰山樵客■憲政會末路……小野川駿
◆此の大恥辱を奈何……鎌田榮吉■解散より總選擧迄……川原茂輔
◆朝鮮に産出する世界的貴重鑛物……武井次郎◆椰子樹の蔭
■愛國の本義より……遠藤隆吉◆財界時言◆公論餘滴
■日支親善一手段……山縣五十雄◆曰く集◆小品文◆短歌
■露國革命の原因と經過◆鑛業界（諸家の朝鮮鑛業觀）◆讀者の聲◆俳句◆姿くらべ……藝妓番附

朝鮮財界の表裏……鮮銀營業局長　阿部秀太郎

◆近事三題◆陸軍記念日◆山霞み花笑ふ◆繪葉書

一冊廿五錢◆六冊前金壹圓四十五錢◆十二冊貳圓八十錢◆郵稅一冊一錢五厘◆內地臺灣支那朝鮮各地書店に在り

二大雜誌　購讀申込所

京城太平通二丁目　朝鮮公論社　電話長二四〇〇番、一〇七〇番　振替口座京城一五七七番

京城太平通二丁目　大陸婦人界社　電話長二四〇〇番、一〇七〇番　振替口座京城二〇〇〇番

春は全誌に滿ちて記事花の如し

（內容健實）**大陸婦人界**（面目一新）

口繪六頁◆櫻と令孃◆夫人と愛子◆革命の起つた露國宮廷◆新婚◆倭城と年耳洞の春◆記念日

芳川鎌子
散て玆に芳川鎌子に對する蛇足的言辭は申上げません最も正直な最も深刻な最も大膽にして最も健實な誌上の記事は果して何事を皆さんに語り何物をか皆さんに求むるであらう

◆鼓の音を慕ひて……阿部朝銀營業局長夫人◆私の此頃……木本京城支配人夫人
▼貴女は何を準備しつゝありや……山脇玄▼樂しき家庭……高島平三郎
▼離婚に就て……宮田修▼オトギハナシ　烏の仇討……雄春
▼歐洲視察の感想から……阪谷芳郎▼母となりてより……宮部貞子
◆女學生と卒業……成田女學校長◆編輯局から……◆短歌

春の眞を味到せよ……

◆漱石追悼會◆俳句◆ポスト◆モジ〳〵のお話◆古川柳小評
▼花見衣裳……石森胡蝶▼子供のおやつ研究……最も有益な食物
▼呻きつゝ……小說▼お役人……紫紅◆四月獻立
▼一夫一婦論……井上哲次郎▼水一杯を飲め……瀬戸醫學士
◆無題錄（五夫人の無題錄は男も共に讀むべき好文字）◆巷より……岩本姬路◆春……角田不案

奥樣方の話の標的となりつゝある　**奥樣大評判記**

◆花見のさま〳〵……石森生◆歩きながら……姬路◆渡鮮五年の春……角田生

一冊廿錢郵稅一錢◆六冊共稅一圓一錢◆十二冊同上二圓四十錢◆滿洲朝鮮內地各書店に在り

○敵國講和新提議計畫

獨逸半官報ロカル、アンツアイゲル紙の報道する所に依れば獨墺側政府は新たなる講和條件を以て講和を提議すべく目下計畫中なりと（桑港電報）

○米國大統領宣言好評

諸新聞紙の賛辭＝米國民狂喜す

米國諸新聞紙は政黨政派の如何に拘らず一齊に大統領ウイルソン氏の宣言を賛成せり共和黨のトリビユーン紙は大統領の宣言は如何なる言葉を用ふるも之を賞揚し過ぐる事なしと云ひサン紙は米國人が人類社會の義務及び共同利益を指導するに其の人を得たるは洵に國家の慶事なりと述べシカゴ、ヘラルド紙は國民の最大多數が誠心誠意大統領に賛同を表するは疑なしと論じたり之等は國民の輿論を代表するものと見て可なり大統領の演説市中に傳はるや到る處に愛國心の表示を見ざるなく前駐獨米國大使ゼラード氏はオペラに在りて其のボックスより大統領の宣言を報告するや聽衆は狂喜し一同席を起つて拍手喝采し其他各劇場及び料理店にても同樣の光景を現出し街上にては人々列を組みて練り歩きたり（紐育電報）

○英軍更に北部に勝つ

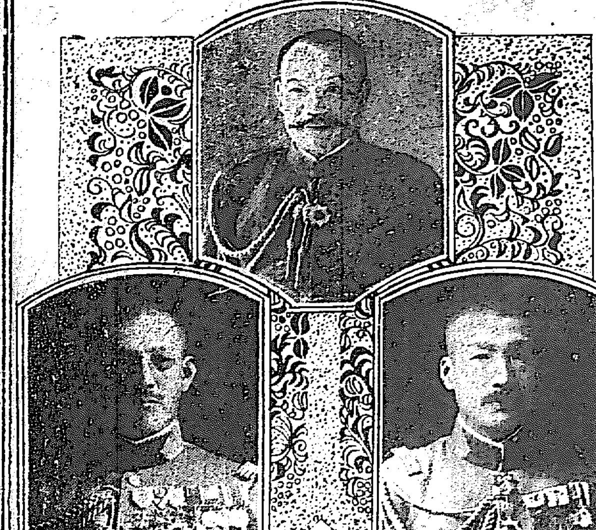
四月二日英軍總司令部附路透社員の報に曰く、我軍は北部に於て更に重要なる前進を爲し防備堅固なるクロアセーユの市街ロンゲツテ及び寧蘭戰激しかりし獨軍の數村落等を奪取せり又グアマンドより前進せる英軍は矢驚早にヴイルコユアツチリー諸村落を占領せるが此の成功に依り我軍の諸戰線はボイスド方面のイチスル高地を廻りてサーヴイの北方より西方にかけて半リーグの弧を畫くに至れり我が軍がサーヴイの占領後收容せる獨軍死傷者は約四百名なり（倫敦電報）

○ガザ戰鬪敵死傷無數

藏相ボナー、ロー氏は下院に於て述べて曰く、ガザに於ける最近の戰鬪の爲めに生ぜる味方の戰死者は四百名を超ず敵の死傷數は八千と註せらる（倫敦電報）

○露食糧品豐富の證左

露國下院議長ロジヤンコ氏は過日露國農民に對し軍隊に食糧品を供給せん事を命じたるに各地より悅んで之に應ずる者多く今日迄に民は各自百乃至三千布度の寄附を申出でたる電報を二十二個所より接受せり之に依つても露國々内には猶食糧品の決して缺乏し居らざるを知るべし（哈爾賓電）



勅使 釜屋海軍少將（上） 皇后宮御使 高橋陸軍大佐（右） 皇族總代御使 齋藤陸軍中佐（左）

○比島抑留獨船

四日朝靜岡丸にて馬尼拉より歸來せる客の談に曰く獨逸商船出沒の眞疑は知らざるも馬尼拉に抑留されたる獨逸商船十四隻は抑留以來石炭を貯藏し終に大なる量となり居りしを官憲に於て發見し警戒を一層嚴重にしたるが獨逸人の用意周到なるは此の一事を以ても明かなりと謂ふべし（門司特電）

○定例閣議内容

四日午前十時より内閣に於て定例閣議を開き後藤、松室の兩相を除くの外寺内首相以下各大臣出席本野外相より外交經過に關する報告ありたる後左の事項を協議決定し正午散會せり（東京特電）

一、海底電信敷設費豫備金支出の件
一、漁業取締費其他臨時事件豫備費支出の件
一、内務省所管人事一件

○東清弊害除去

從來長春驛より哈爾賓に向け發送する貨物到着の遲速は東清鐵道現業者に對する賄賂金の多少に依りて左右せられ各荷主の迷惑少なからざりしが執行委員會は之等の弊害を一掃すべく寬城子驛貨物係及び長春哈爾賓間列車々掌等の更迭を命じたりと（長春特電）

○露貨相場昂騰

露貨相場は强氣配にて百八十一圓四十錢に騰れり（長春特電）

○岡野博士一行出發

既報の如く臨時帝室制度審議會員岡野法學博士、馬場法制局參事官、栗原賤太の三氏は李王家典範調査の爲め四日午前八時卅分東京驛發京城に向へり（東京特電）

○交通部員東上

汪交通次長一行二十一名は四日午前關釜聯絡特別船高麗丸にて下關著山陽ホテルに休憩の上門司丸にて門司に渡り同十時二十分發特別列車にて八幡に到り製鐵所視察の上下關に引き返し午後五時五十五分發特別列車にて東上す汪次長は巧なる日本語にて記者に語りて曰く余等一行今回來遊に際し京城、並に大連にて非常なる優遇を受け又關釜間は特別船を仕立てたる等共の好意感謝の外なしと（門司特電）

○汪特使奉天著

汪特使一行四名は三日夜大連より奉天著支那興業銀行に一泊し翌四日張督軍と對日方針に就き打合を爲し午後三時臨時列車にて北京に向へり（奉天特電）

○製煙受拂數量

大正元年中に於ける鮮内製造煙草の引取數量は本紙既報の如くなるが更に其の受拂數量を地方別に見るに左の如し

▲京城　受入高は紙卷煙草三十三億一千八百十二萬一千本刻煙草其の他一萬二千三百十八貫にして拂出數量は三十三億三千八百五十九萬九千本刻煙草其の他一萬三千四百四十八貫なり

▲大田　紙卷煙草は皆無にして刻煙草の受入高三百九十八貫は全部拂出しとなり過不及なし

▲大邱　受入高紙卷煙草五千二百六萬五千本刻煙草二千四十七貫に對する拂出高紙卷煙草五千三百七萬二千本刻煙草二千七十八貫なり

▲釜山　受入高は紙卷煙草五千八百四十三萬五千本刻煙草四千五百十二貫にして拂出高は紙卷煙草五千八百四十三萬五千本刻煙草四千四百三十六貫なり

▲馬山　受入高紙卷煙草二百四十八萬一千本刻煙草八百八十四貫にて拂出高は紙卷煙草二百七十八萬一千本刻煙草八百八十四貫なり

▲全州　受入高紙卷煙草一億二千四百十四萬本に對する拂出額一億二千四百卅八萬本にして刻煙草は皆無也

▲平壤　受入高紙卷煙草二億七千萬六千本刻煙草四百二十一貫に對する拂出額紙卷煙草二億六千九百二十六萬三千本刻煙草四百四十六貫なり

▲元山　受入刻煙草三百四十五貫に對する拂出額三百四十五貫卽ち受拂高共に同數を示し過不及なし

而して之を通計するに同年中の受入總高は紙卷煙草三十八億二千五百七十四萬八千本刻煙草二萬九百二十五貫にして拂出總高は紙卷煙草三十八億四千六百十三萬三千本刻煙草二萬一千六百三十五貫を算し拂出高は受入高に比し紙卷煙草に於て二千三十八萬五千本刻煙草に於て八百十貫の增進を見たり

◇假喪主李鍝氏＝李堈公殿下第二公子鍝氏年當六歲今回李埈公殿下御葬儀假喪主と定めらる

○京畿米檢規定

來る五月下旬實施せらるべき京畿道米穀檢査に就き其の規定内容に關する要項左の如し

▲檢査地　從來仁川、平澤、烏山等に於て擧行せしが今回は告示を以つて決定し隨時伸縮の方法を採り檢査地を選擇決定する事

▲檢査標準　（イ）下等米の名稱は之を商人嫌忌するに由り以後三等米と稱す（ロ）上格米下格米の間餘りに離隔せる故中格を設けて二等と稱する事（ハ）目下の檢査標準は夾雜物に重きを置けるが爾後死米、赤米、變質米等も檢査標準中に加へ其の甚しき物は一格引下ぐる事（ニ）窩所は軍需米も多き爲三斗入叺又は袋入を認め卽ち容量と包裝に就ては實際の狀況を參酌する事

▲檢査有効期間　檢査有効期間を決定して其の効果に重きを置く事

○京電新株好況

京城電氣株式會社六萬株（一株に付十二圓五十錢）の應募は好成績にして三日午前中受付けたるもの五萬九千六十五株合計金額七十十三參八千三百十二圓五十錢の拂込を了せりと

○法人所得税額決定

京城府税務課の調査に由れば大正五年九月より實施せられたる第一種法人所得新税令に依る所得決定額は朝鮮銀行外十九個所にて九十一萬八千七百四十七圓此の税額五萬七千七百四十九圓七十六錢なりと

○小野田土地買收

三月十四日小野田セメント會社に於ては鑛業工事用として平安南道大同郡晩達面勝湖洞及び立石洞の土地を買收する爲め同會社技師笠井博士外數名前記兩洞に向ひ所有洞民と協議を遂げたる處買收價格に於て所有者側と折合付かず笠井博士も詮方なしとて十五日中和郡破邑に引揚げたるに十五日に至り晩達面長其他の盡力に依り無事に協議纏り同會社に於て立石洞の土地十三町三反六畝歩勝湖洞の土地二町九反七畝二十歩計十六町三反四畝六歩買收價格は一日耕百四十圓乃至五百四圓の相場なりしと又同會社に於ては已に大田郡青龍面箕林里晩達面正石洞の間に鐵橋を架設すべく目下鮮人々夫二十餘名を使用し江内の地盤推針を爲し居れりと（平壤）

○李埈公御葬儀行列順序

憲兵　僞仗兵　望炬五　方相氏（馬）　哭婢二（馬）　行子一（附香亭）　挽龍一　紗籠五　雨傘一
憲兵　望炬五　方相氏（馬）　哭婢二（馬）　行子一（附香床）　乘床一　紗籠五　雨傘一
紗籠　紗籠　紗籠五　傔人（一人騎車）　生花　紗籠花環
別陪二　魂輪　後陪（御親族一人乘馬）　靈倉香亭（馬木）　魂帛腰輿（馬木）　後陪（御親族一人乘馬）　傔人（一人騎車）
別陪二　紗籠　紗籠　挽詞　紗籠五
紗籠五　祠版腰輿（馬木）　傔人（一人騎車）　挽詞　紗籠　肩轝（馬木三三小轝）　榻　生花　紗籠花環
紗籠五　紗籠五
銘旌　功布　●黼翣三　黻翣三　雲翣　雲翣　紗籠　紗籠　公附武官（馬）　靈轝（馬木三）　喪主（馬車）　亞翣　亞翣　公附武官（馬）
昌德宮御使（馬車）德壽宮御使（馬車）昌德若宮御使（馬車）李堈公殿下（馬車）○
御親戚　長官（馬車）　次官　喪儀係員　儀仗兵　憲兵　憲兵　一般會葬者

○吉林鮮銀開期

吉林に於ける朝鮮銀行支店の新設は目下銀行にて諸種の準備を行ひ一方店長以下行員の詮衡中なるが結局其の開店は早くも四月十五日なるべく或は二十日となるらん

○東拓下關出張所

東洋拓殖下關出張所にては所長以下各所員の決定赴任も略ぼ結了したれば四月一日より開始し主に移民に關する事務を取扱ひ居れりと

●山形少將別宴

▲記者團主催　今回滿期退役となり不日出發歸東すべき警務總監部高等警察課長陸軍少將山形閑氏の爲め京城記者團は來る八日午後六時半料亭花月に於て別宴を開催す可し

▲縣人會主催　在朝鮮の福井縣人は七日午後七時京城南山町松葉亭に於て送別會を開催するに付同縣人にして出席希望のものは六日迄に南大門驛前松原榮氏方まで申込み會費金參圓當日持參され度しと又其の記念品贈呈贊成者は十日迄に五拾錢以上同氏宛送金すれば縣人會役員に於て金盃を調製して贈呈する筈也と

人事消息

▲中川千代田艦長▲副島海軍少佐　四日夜入京已發歸へ
▲舟田又助氏（全北鐵道株式會社重役）　同上東京着へ
▲野村光貞氏（兩替電氣重役）　四日來京
▲宮崎江原道第一部長　五日朝來京の筈
▲深川新義州府尹　四日來京
▲飯塚源助氏（大阪貿易商）　三日夜來京

■南言北語■

▲墺地利の新聞檢閲のやかましい事は獨逸以上で毎日の新聞が白紙の大穴を空けて出る事は珍らしくない▲甚だしきは或種の雜誌は大部分白紙で終り三頁が印刷されて居るのみであつた▲墺地利に國會はあるが戰爭になつて一度も國會を開かぬ豫算は政府獨斷で決めて人民に押付ける是は墺地利では各種の人種が居て議會で喧嘩をするので戰爭前でも議事は少しも進捗せぬ議院で議論して外部で決鬪する斯んな有樣では戰爭中議會を開く事は出來ぬと云ふのである▲所が墺洪國の新帝カールは獨逸に叛いて寧ろ單獨講和でもせんかとする氣風がある▲此事に關して英國の隔週評論にポリチカスと云ふ匿名で面白い議論をして居る者がある▲其説に依ると獨逸が頻りに講和を急ぐのは墺洪國の態度が怪しくなつたからである▲獨逸は今度の大戰を始めるに際してフレデリツキ大王の七年戰爭を理想としてゐる▲其時フレデリツキ大王は普魯西の元首として佛墺露瑞其他獨逸の小邦を敵として戰つた▲普魯西の作戰は敵の聯合を破るにあつた之が成功して戰爭の頂上に際して露西亞が普魯西側に付いた之でフレデリツキは大王の名を博した▲今度も獨逸は頻りに聯合國側を離間しやうとした露國との單獨講和も試みた▲獨逸人の考へでは之が戰爭中に成功せずとも講和會議の席上で成功さへすれば獨逸の成功だと思つてゐた▲然るに近頃墺地利新帝の態度が怪しい、彼が新しく獨逸に不平なる勃牙利と土耳其を率ゐて敵と單獨講和をする懼れがある獨逸が講和を急ぐ理由茲にあると云つて居る▲之も面白い觀察だ

陸軍拂下品 袴下 靴下。手套 其他各種
並に諸官衙拂下品多數有之御用命願上候
京城府黃金町通 電話長三三六 佐藤古着店

冒險世界 四月號
探偵苦心號
■犯跡の解剖……阿武天風
■虐殺……阿武天風 ▲寶檣……阿武天風
△獨逸監獄の七年間
△疑問の紙片
△日露戰爭當時の賣國奴事件
△端書の暗示
△警官の不平を騙す
■法醫學上より見たる犯罪者
■英國の毒殺事件
■艶語の女の首と腕
■地獄魔の元祖
■大詐欺師 世界一の四千萬圓の女賊
■疑問の三人殺犯人
△歌酒落の探偵と命の手紙
△猛獸使
△奴長兵衛
△死刑囚の告白
△縮尻物語
△人か獸か蘇公物語
▲螢に發れる血染めの指痕……長瀨春風
■四ツの印（探偵小説）……長瀨春風
東京本町 博文館 振替東京二四〇

京城西小門町二一番地（舊醫院跡）
田中丸病院
【入院隨意】
院長 醫學士 田中丸治平
醫師 上野和夫
電話一三一五番・八八五番

學生諸君へ 試驗褒美へ 組合セ文房具ニ限ル 京城本町 シンキ

新製名菓 人蔘ドロップス
一函六十五錢 進物用錦函入 一函二十錢
靈藥朝鮮人蔘の精粹（越幾斯）を主材料とし美味と滋養とを兼たる原料を配合し弊店獨特の新製藥法に依り精製したる人蔘ドロップスは滋養豐富美味にして之を常用せば精力を增し健康を進むるの効偉大なり平素の御常用品、絶好の御土產品として眞に理想的の最新名菓たり弘く江湖諸彦の御愛用を冀ふ
大連 木村屋滿鮮本店謹製
朝鮮一手販賣 京城明治町（電話一八七〇番） 木村屋京城支店

八丈島特產 精撰椿香油
牛乳ニ優 國華石鹼
みやこ紅、白粉都の雪
關西特約店
本舖 京都 紅清號
紅清號注意有

時候の變り目にミツワの藥を御用意
朝鮮特約店
ミツワ家庭藥販賣 熊平支店
電話長六四番 振替京城二二二番

漁網。釣具一式及附屬品卸小賣
網類賃貸及修繕大勉強仕候
京城櫻井町壹丁目
網京商店 通信販賣部

[illegible]られたり▲[illegible]下新事業組合[illegible]平安南道[illegible]郵便局[illegible]五萬八百五十一圓
道[illegible]郡邑內も近時著しく發展し內[illegible]移入三十九萬八千四百十五圓合計
地人の居住する者多きを加へたれば三十四萬九千一百七十二圓一月後の

[illegible]收入せし二萬一千四百圓五十五錢一月よりの累計五萬三百八十一圓五十七錢なりと云ふこれを昨年の

一月以來の累計額に對照するときは常年は十五萬一千百八十二圓を增加し居れりと▲判檢事赴任出發　今切

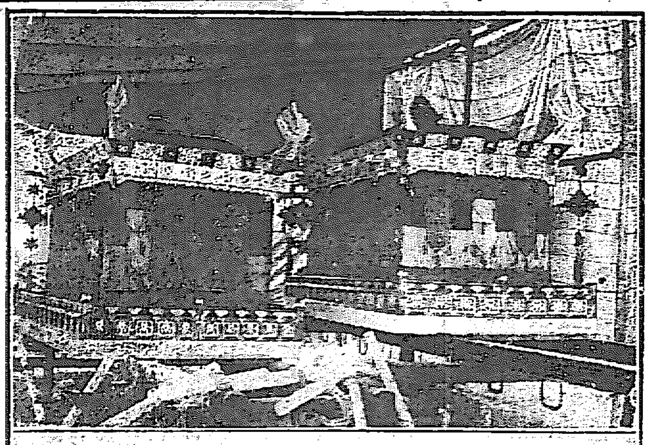
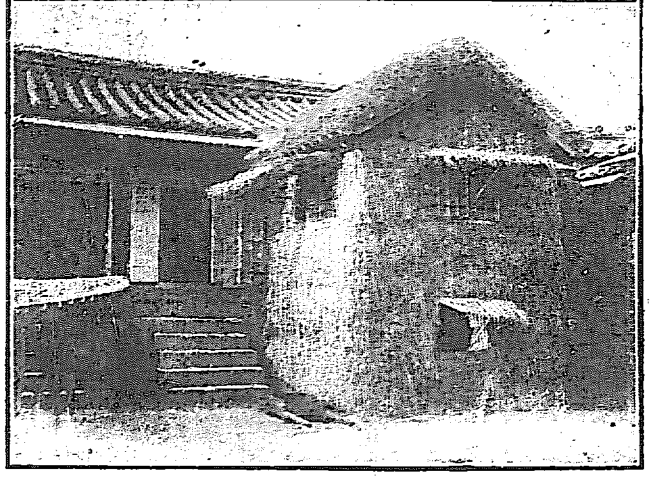
中島豐之氏[illegible]同列車にて赴任すべし
▲警部轉任　平壤警察署警部田中傳次郎氏は今回[illegible]北道[illegible]警察署

[illegible]漁船は二十八日五萬餘尾を積載せる一漁船の清津入港を初とし翌二十九日より引續き二三隻宛の入港あり四月上旬に至

[illegible]地方に移出せられん[illegible]沿岸地方は昨今解氷期にて漁獲多からざるも四月に入り解氷を終らば漁獲多か

[illegible]里の沖合まで出漁し北船數三百五十餘人員一千餘に達せるが將來之に從業者の企圖擴張と鮮人就業增加とに

[illegible]張を圖り一面に於て[illegible]せしめざる爲め輸出檢査を嚴重に[illegible]引の簡易確實を期し共[illegible]産物の利用を講究するの要あるべし

♣大輿　小輿（上）——大輿は遺骸を載せ小輿は生前所用の衣類夜具を納め埋葬を終了したる後大輿は多く邸內に保存し小輿は近隣の者に施與するを例とす　♣廬幕（下）——喪主は廬幕の粗席を殯殿の庭前に建て喪主及び近親者の籠りて服喪の處とす今は一つの儀式として多數の下人常夜交代して發喪の日より埋葬後七日間大聲哀哭の聲を絶たず

◉悲しき名殘の日

御葬送の準備に忙しき李埈公邸

李埈公殿下永眠せられてより恰も十有六日朝風暮雨殯殿に哀鳴し愁雲片時も

◆雲峴宮の上を去りやらぬに早くも、かりもがりの日も過ぎて愈五日御遺骸は公邸を出で往き給ふ事なれば邸內の奥まりたるあたりよりはいとど悲しき哀哭の聲漂ひて更に愁ひを新にし表の方にては御葬送の準備に忙がしく洋館の方は御發喪の日より御見舞の人々引きも切らず殊に四日は名殘の日なれば

◆訪客いと多く玄關の見舞人名簿の頁を盡して記されたり權藤事務官は應接係として發喪の日より晝夜洋館に詰切り居られたり廻廊を渡り本邸の方に向へば各部室ともに束ねたる別香生花、紗籠、蠟燭などの葬送の物所狹きまでに排並び內庭に下れば茲には高き天幕を張り中には壯大なる靈轝と肩轝と相並びて既に工を了り

◆許多の工人は轝を圍んで騷ぎ居れり靈轝は一に大轝と呼び幅六七尺長さ四十尺もあるべく高さ又七八尺にして黄、赤、紫の羅紗を垂れ寶鈴寶網を以て飾り屋頂は金蓮華にて飾れり靈轝は二百十六人にて擔舁との事なり肩轝は一に小轝と稱し其の構造裝飾共に大轝と異らず大轝より其形稍小さきのみなり小轝は

◆葬列にては柩を載せたる大轝に先き立ち轝中には生前の衣類調度などを納め埋葬の終りたる後大轝は邸內に保存し小轝は洞民に施與する例なりとそれより更に內庭の門に進み入れば號泣の聲、緩やかに斷續して聞く者をして識らず識らず深き哀愁に淪ましむ、此の幾人もの哀哭の聲は庭內の一隅に設けられたる廬幕の中より洩れ來る歎きなり廬幕は發喪の日

◆新らしく設けられたる廬屋にて藁の屋根を蔽ひの鬱にて閉み中に藁を敷き喪主を始め親族の喪に服する人々此の土間に起臥し晝夜哀傷慟哭の聲を絶たず昔時三年の喪も斯る廬幕の中にて服したる習はしなりしと廬幕の背後は奥深く內房に連絡し親子の幕を張り其の內の一室に靈柩は安置され居れり藤衣したる人々靜かに

◆室內を往來し居れり殯祭は御發喪の日より三日を經て遺族は喪服を著け遺骸を柩に納め朝夕の供物拜禮嚴かに行はれそれより李王兩宮を始め御親戚の方々の致祭とて敬禮至らざるなき祭ありしとの事なり四日の午後より葬列の練習ありしが公生前の御人格を慕ふ者又此の莊嚴なる葬列を拜せんと遠き地方よりわざわざ出京したる者も頗る多く雲峴宮前の大路は民衆愁雲の如く群集されり

◉鴨江鐵橋々脚降下說は無根

根固捨石施工が誤傳の基か

鴨綠江の大鐵橋の橋脚が漸次降下しつゝありとの說は昨今或る方面に流布されつゝあるが元來鴨綠江架橋工事は日本に於ける最至難工事であつて當局に於ても之が

◆架設に關しては微細なる點に至る迄忽にせず數年間精細なる各種の調査を行ひ各專門家の意見を求め種々審議講究を重ね設計を行つたものである其結果橋脚基礎は全部潛水函沈下工に依り施行してある此の工事は

◆壓搾空氣に依り水を排除し河底地層の掘下工事を陸上に於る土砂岩石掘鑿工事同樣最も完全に施工したもので橋脚基礎は何れも岩層內十數尺の深に達して居るのであるる又流氷洪水等の爲め豫期せる所で何等橋脚基礎の安定を阻害さるゝものではない橋脚は其の高八十呎以上に達し其下端數尺岩層內に沈下してる譯だから列車の震動並に流氷流筏等の衝擊に際し

◆萬一に備ふる爲め此等二、三脚に根固捨石を施工した事があつたが多分かゝる施工を誤傳したものであらう橋脚基礎を岩石に達せざる所より築造した爲め洞流等に其の底部を洗はれ橋脚降下など云ふ事は全く無根の風說に過ぎない

◆上層の軟弱なる地層を流下したりとするも斯の如きは寧ろ

榮ある日

神武天皇祭當日に於ける ◇地方の記念植樹◇

◇仁川　仁川府にては三日午前十時より月尾島に記念植樹を行ひたるが、檜井府尹を初め府吏員公立商業學校、第一高小學校、商業學校、普通學校等各校職員及び上級生徒は稅關棧橋より朝鮮船に搭じ月尾島に至り無線電信局下南に面せる傾斜面にニセアカシヤ二千餘本を植栽の上茶菓の饗應ありて午後一時頃散會したり（仁川）

◇新義州　新義州の記念植樹は營林廠長の就任よりこの方今年で第三回目の植樹である、今年の神武天皇祭に植ゑたのはくぬぎ、からまつ、やまはんのき、ぬるで、あかしや等の十四種五千九百七十一本、何れも三年生四年生の苗木を街の共葬墓地に植ゑて防風林の新義州を前橋通鎭の背計同樣に爲ようといふのである、それで三日の旅日は對岸安東縣からも大勢の人が來て盛んに植ゑた、營林廠長の談によれば大正四年は一千百七本、五年は四千八百五十一本、これが多きくなれば街の風致林としても防風林としても立派であらうと尚は新義州の一年は百三十餘日風がふく、早く此の樹が大きくなつてくれるやうにとは誰れもの願ひであるさうな

◇釜山　例年四月三日の神武天皇祭の當日を以て記念植樹を行ひしも本年の同日は他に差合ある爲め特に日時を繰上げ本月一日の日曜日に釜山鎭牀臺山頂上（俗に小西城趾）に於て施行せり參列者は若松府尹、府吏員、橋本警務部長、韓警其他の警部、學校組合議員、新聞記者、其他官民百二十名並びに釜山鎭普通學校職員生徒約百名午前十時に山上に相集ひ暫時休憩の後各自に櫻の苗木及松柏の苗木の配布を受け羽織袴の盛裝、金筋帶劍の正裝、制帽の學校生徒等各自思ひ〳〵の場所を選び山上山腹に散りて一千餘株を植ゑ盡し十二時を合圖に用意の辨當を開きたるが當日は天氣殊の外に麗はしく附近には人出多かりき（釜山）

◇平壤　平壤記念植樹式は三日午前十時より瑞氣山上に於て行はれた道長官各部局長等の高地の巽には紅白の幕を張り入口の門には大國旗二旒を交叉した會衆五千名は道職員及學校職員等の斡旋で松楓アカシヤノ苗木の配附を受けて瑞氣山の西北指定の場所に植ゑ初めたが何れも嬉々として土を堀り苗を立て、足で踏み付ける實に今日ばかりは瑞氣山上皇國一致の美風を示してゐた山上より瞰下すれば平壤中學校では職員生徒一同學校の周圍に植樹してゐた遠く普通學校の堤防一帶には多數の群衆が盛に植樹しゐるのが見受けた（平壤）

●永久の眠り　安らけく

李埈公殿下御墓所

李埈公殿下の悲しき御骸を埋めまゐらすべき高陽郡孔德里の双龍原はいよ〳〵今五日の午後より殿下の永久の眠り

♣安らけく在しますべき處となつた、御墓所は西大門より麻浦行きの電車道づたい京義線の線路に出て右折楊柳の村に入つたところである鐵道線路の下アーチ形の門をくぐつて縱にポプラ、楊柳の樹立に入れば其處は即ち御墓所である、壙墳はすでに先月廿七日より

♣工事に著手し四日の夕方までに殆んど完成し了つた唯見ば場內に設らへたる勅使、皇后陛下御使、各宮御使、喪主、御親戚の御席は祭閣の前なる左右の天幕內に設けられ正面白木造りの祭閣の後ろには高さ二十尺ばかりなる小山大なる

♣土饅頭形の御墓所を設け更に其の上には縱四間なる圓形壙墳の茅にて圍まれたる墓上閣の姿も悲しく殿下の靈柩は長方形なる石廓內に納めまゐらすべく石灰切石など用意されてある、猶御壙墳の東側には殿下に楊州郡に葬り奉りたる元の妃殿下

♣貞敬夫人　洪氏殿下の壙墳をも設けられ御枕頭には殿下生前御愛玩の寶物什器を納め奉るも悲しき極みなり、猶ほ御墓所の小高き丘に起ては前方京義線の堤防を隔てゝ遙かに麻浦のあたり漢江の白砂を望み下には楊柳の林松林の麓御墓守りの

♣我笑堂の莞爾びわたり、此所は五日の御式典に勅使、皇后陛下御使並びに各宮御使の休憩室に當てらるゝところ境內の風光勝れたる理りこそ、此の地は曾て大院君の御墓所と定められしところ今は

♣故ありて　坡州郡磋里面に移しまゐらせたれどこれよりは秋の時雨に松翻に悲しき涙しぼらるゝことであらう、因に祭儀場の準備は午後六時全く整ひ式場係田中事務官、金、朴、兩事務官もそのまゝ歸つた

故李埈公安葬の地＝孔德里墓所

カビリア 觀覽讀者優待割引券

各等普通入場料の半額

有樂館上場の「カビリア」觀覽讀者優待券を本紙月極讀者に限り二葉宛頒布致しました、優待券一葉に就いて二人まで入場が出來ます。普通入場料は一等二圓、二等一圓、三等五十錢になつてるのですが優待券を御持參になれば一等一圓、二等六十錢、三等三十錢即ち普通入場料の殆んど半額で觀られます（軍人學生は各等半額）每日正午から午後六時からと晝夜二回開場します、價が高いから絕對に內容が佳いとは申されませんが「カビリア」は倫敦で二十圓、東京で五圓、橫濱大阪その他で三圓の入場料を取つても猶ほ好評大入りだつた世界的の寫眞であり天活會社から最低二圓以下では觀せてはならぬといふ制限まで附せられたものですから是等に徵しても凡俗の寫眞で無い事と信じます

◉政友派運動員九名召喚さる

小倉市政友會派の運動員九名は二日夜より三日朝にかけて小倉檢事局に召喚され中一名は既に未決監に投ぜられ其他は目下取調中なるが之が爲め福岡より阿部檢事正、山岸警察部長等出動し家宅捜索を爲す等大騷動を爲せり違犯の內容は有權者に金錢を授受せるものゝ如し（門司特電）

◉乃木將軍實蹟講演會　仁川基督教青年會館にては五日午後七時半より乃木將軍實蹟講演會長市木桁造氏を招聘し講演會を開催する由會員は勿論一般の來聽を歡迎すと尙仁川驛及び仁川稅關に於ても同氏を招聘講演を乞ふ由

◉黄金館の開館　田村義次郎氏の所有にして久しく現有樂館主早川增太郎氏經營し居りし活動寫眞常設館黄金館は早川氏有樂館買收と同時に田村氏に返還し今回新に浪花館主西田嘉三氏の手にて經營する事となり來る十日より天活系の寫眞を以て開館する事となり寫眞の選擇辯士の雇ひ入れ等すべて準備整ひ何れ開館より向ふ一週間に限り一二等入場者に朝鮮煙草の花扇一個三等入場者に初日一個を贈る筈なりと

◇有樂館の名譽興行◇

問題の古典劇愈々現はる!!

△四月六日（金曜日）三日間公開晝夜
△四月七日（土曜日）開館晝間は正午
△四月八日（日曜日）十二時より夜間
△四月九日（月曜日）は正六時より

寫眞三萬呎に亘る長尺に付き正六時「カビリア」第一卷を映寫す

◆世界一の大寫眞！未曾有の傑作！
◆文豪ガブレツシエ、ダヌンチヲ氏不朽の作
◆伊太利イタラ會社が世界に誇る

文藝劇 古典 カビリア 全十二卷 三萬尺

應援として天活會社辯士長 宮原保 出演

說明者
早川演藝部洋劇擔當主任 薄田半曉
早川演藝部主任辯士 南鄕公利

◇撮影費百萬圓！閱日滿一ケ年◇
◇出演俳優二萬人！生けるローマ史◇

曩に帝國劇場に公開し滿都を震駭せしめたる眞價百萬圓の大寫眞『カビリア』は今回早川演藝部が大なる努力と犧牲とを拂ひて其の映寫權を獲得し有樂館に於て三日間限り公開す！英京倫敦に於て最低二磅（二十圓）帝國劇場に於て五圓大阪角座に於て參圓の入場料を以つて公開せる『カビリア』は文化の眞髓を發揮し盡せる大寫眞なる事を保證す

◇聞け！
イタラ會社が十萬法を投じて落札したるダヌンチオ氏の傑作にして有名なる作曲家マンリチマツア氏に一萬圓の作曲料を拂ひて歌詞を作り次に百萬法の現金を投じて高さ三十丈のモロツコ大聖殿を建築し世界の富と時と努力とを盡せる大寫眞なり

△觀覽料
特等　御一人　金二圓
一等　御一人　金一圓
二等　御一人　金五十錢

◎內地各地にては視學官の手を經て學生諸君の團體觀覽をなせり
◎學生軍人は晝間興行に限り特に ◇一等五十錢 ◇二等卅錢 ◇三等廿錢
團體の觀覽は特別の御相談に應じ申候　十二歲以下の小兒は入場御斷り　但し御同伴は差支へ無之候
◎混雜を避ける爲め市內各所に發賣所を設く
◎入場者に制限あり賣り切れぬ內御買上を乞ふ
◇京城本町二丁目　大阪屋書店
◇同　本町三丁目　ウツボヤ書店
◇同櫻井町一丁目　早川演藝部本店

早川演藝部直營　有樂館　電話二〇五番五九七番

◇有樂館の名譽興行◇

朝鮮總督府
一ボールド外五点
右購買ス詳細ハ四月五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

競爭入札購買　朝鮮總督府遞信局
一、電話器　二萬
一、集配鞄墨口類　一萬
詳細四月四日ノ本府官報ニ在リ

株金拂込催告期限延期公告
三月二十三日公告催告期限四月五日延期催告期限大正六年五月十五日今般都合に依り右之通り變更致候間爲念公告候也
朝鮮製綿株式會社

菊　朝顏　專門
名表無代進呈
京都丸山南山公園　龍溪一笑園

最新刊

書名	著者	定價
◎死の際に	德富健次郎	一、八〇
◎磁氣と物質	本多光太郎	二、八〇
◎債權者の法律顧問（法學博士岡松參太郎閱）	森健榮	特一、八〇
◎朝鮮の金鑛	町田長作	一、〇〇
◎大正六年最近朝鮮事情要覽	總督府編纂	六五
◎英語活用自在	森太	一、五〇
◎資金帶殖學	經濟調查協會	一、〇〇
◎啓、發錄	加藤桂堂	一、〇〇
◎模範作文談話	大町桂月	一、三〇
◎最新植物生理學提要	白井光太郎	一、五〇
◎振り易き漢字の讀み方と正しき用字法	久保天隨	六五
◎富の礎	安田善次郎	一、〇〇
◎洋樂夜話	太田黒元雄	一、〇〇
◎實務の人	吉川忠雄	一、〇〇
◎大正六年鑛區一覽	總督府編	四〇
◎ペン商業式習字帖	吉成泉外	三〇
◎江戶一代女	林私	七〇
◎ペン數字練習帖	大阪屋號編	一〇

大阪屋號書店
京城本町一丁目　電話六〇二　振替京城二九七三番

富の道しるべ
山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵稅二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

寶　大口歡迎
京城黄金町長橋前入　電話一九一六番
商品擔保便利取扱　田村寶店

病で時々倒れる　てんかん　ヒキツケ
困難の方切手三錢送れ永年の病いを自宅でなをす最善の良藥を教ゆ
◎名古屋市中區南小川町　救生館

父和三郎儀本月三日鄉里若松市中六日町に於て逝去候に付此段謹告候也
追て葬儀は來る八日同地に於て佛式を以て相營可申候
大正六年四月四日
石塚英藏
親戚一同

怒濤の月

百二十六　小林蹴月作　武内桂舟畫

焰の輝き『廿四』の三

『親方、人間が打倒れて居るやうですせ。女の人間が……。』

『ほんになア、若い女のやうだが、豈夫女乞食ぢやあるめエ。』

『親方、可哀さうに、女乞食どころぢやありませんよ。素敵滅法界な別嬪ですせ。何だか氣を喪つてるやうですね。』

火事場馳りと思しい植木屋風の主從が、提灯に夜道を照らしながら、太郎稲荷の田甫路を横切つて、入谷方面へ急ぎ行く途中、何とも知らず此處を通りかかつて、畔の横手に氣絕した儘の絹代を發見したのである。

『ぞれ〳〵、三吉、モ少し提灯を差出して見なせエ。成程、此處等邊りにや不相應な品の好い柔順しやかな娘さんだ。此の節柄惡漢が誘拐かして來たんでもあるめエが、何にしても、氣の毒の至りだ。』

親方と見ゆる五十恰好の男は、靜と絹代を抱き起して、素人思案に胸の邊りへ手を宛行つて見ると、温度も脈搏も案外に確な容子であつた。

『三吉、大丈夫だよ。俺が斯うして活を入れてる間に、手前其處等から手拭に水を濕して來て飲まして見なせエ。』

弟子奴は、大急ぎに用水堰の水を手拭に浸して、無理に絹代の口を割つて嚥ませた。

『もし娘さん、確乎しなくちや不可ねエ。おい、娘さん……氣を確かに……』と、搖りつ搖りつ、呼び立つる間に、不思議と主從の親切心が感應したのであらう、絹代は、うむとばかり息を吹き返して、夢から覺めたやうにパチリ兩眼を啓いたのであつた。

『可哀さうに手も足も氷のやうになつてらア。温めてやりてエにも、田圃の中ぢや仕方がねエ。おい娘さん、俺達は決して胡亂な白物ぢやねエんだ。今千束のお花主へ火事見舞に行つての歸りがけなんだが、什うですね、少しは氣が確かになつて來ましたかね?』

親方は自分の被て居た紺羅紗の腰切を脫いで、絹代の肩へ引掛けてやりなど爲るのであつたが、絹代は、只自分の身の生きて居るか死んで居るかを危み訝しんで居るやうな氣色で、眼を瞬たき、耳を傾むけて、彼方此方を振返り見ながら、頻に長い溜息を吐き流し居るのみであつた。

『困らせるねエ。まだお前さんは口が利けねエのかね、何とか言つて貰はなくちや、恩に被せるぢやねエが折角助けて進せた甲斐がねエと云ふもんだなア。』

親方は、稍自烈込だやうな、調子で、斯う言ひながら、提灯の灯影で倘染々と絹代の面を覗き込んだが、只さへも合點のゆかね上に、更に一入合點のゆかねらしい眼付で、少時は小首を右へ左へ捻くつて居た。

『……此處は一體、何と申す所なんで御座いませう?』

絹代は、急ッ付くやうに言はれたので、初めて漸く口を開いたが、それも自身では餘程咽喉元が苦しさうであつた。

『此處は、吉原の裏手の太郎稲荷の附近で、俗に入谷田甫と云ふ所でさア。』と、親方は、遙かに千束の方を指し示して、

『お前さんは乾度、千束の方から來なすッたに違ひあるめエね。』

『……はい、多分彼方の方から參つたやうにも覺えて居りますけれども……實の所は、自分にも能くは分りませんので……若しやそれでも此處は御迷惑いますまいね。』

『は、は、は、盤談言つちや不可ねエ。俺達は直き此の先に見えてる入谷の植木職人さ。』

『あの、入谷と申せば、朝顔の名所で聞こえて居ります……。』

『なに、此の節ぢや朝顔も何もありやしねエが……。』と、言ひながら、

親方は不圖何事をか記憶の底から呼び起したらしい頓狂聲を發して、

『おい三吉、手前も少しは覺えてるだらうが、此の姉さんは、こりや原町のお屋敷で去年邊りちら〳〵と見掛けた顔のやうに思ふが、手前は什うだね?。』

『それ〳〵親方、然う言はれたんで俺も漸と思ひ出しましたよ。』と、三吉は、覺えず横手を拍ちつゝ、

『親方、正に判然と明かに明瞭に然うに違ひねエんです。名前はたしか絹代さんとか云ひましたッけよ。』と、又今更のやうに提灯を差付けて、絹代の姿恰好なしげ〳〵。

五月幟　龜屋染工場　女御染武者染各種　京城本町二丁目　電話四五八

名刺　京城　太平堂　電話二七一二番　振京二三七番

内科 小兒科 胃腸科　京城醫院　京城本町二丁目 浦尾旅館前 電話七四三番　岡山醫學士 鈴木茂

新刊紹介

▲婦女界(四月號) 廿五錢東京牛込市ヶ谷加賀町共社
▲農家(米麥特收號) 十錢東京神田錦町三の八農友社
▲講談倶樂部(春季特刊號) 三十八錢東京本郷駒込坂下町四八講談社
▲青年文壇(四月號) 十五錢東京牛込神樂町一の一東亞堂
▲娛樂世界(四月號) 廿五錢東京日本橋ヌキヤ町九共社
▲世界公論(四月號) 十七錢東京小石川大塚窪町二四共社
▲少年倶樂部(春季增刊號) 二十錢東京本郷駒込坂下四八大日本雄辯會
▲英語精習(四月號) 十五錢東京市芝南佐久間町英語精習社
▲戰友(四月號) 七錢東京麴町飯田町二の五二帝國在郷軍人會
▲雄辯(四月號) 卅錢東京本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會
▲黑潮(春季特別增大號) 五十錢東京麴町内幸町一の五太陽通信社

商況

大阪株式特電
大阪三品特電
下關期米特電
仁川期米
▲日の商内
▲全商内
四日の六月限

營業科目
ゴム板類　各種ゴム管　自働車タイヤ　自轉車タイヤ　ゴムベルト　ゴムロール　ゴム毯　諸機械用　鐵道用　船舶用　エボナイト　電氣用　鑛山用　醫術用　其他一切の　ゴム製品

A
スカロツプタイヤ
ウツマキタイヤ
角一タイヤ
スパルタタイヤ
マーキユリータイヤ
ビリツケンタイヤ

角一ゴム合資會社朝鮮總代理店
角一商店
京城南大門通二丁目二五(電話六〇九番・振替口座京城三三四三番)

三春の行樂
誰と共にかせん
友あり其名は
森永ミルクキヤラメル!
煙草代用
6-8

染めたと見えぬ
自然の黑髪と同じ色に染る
あらが赤毛染 ナイス
ナイスの五大特長
□タッタ二十分で染る。
□自然の髪の色艶に染る。
□襟、枕に汚染の惧なく。
□洗て剝げず永く保ち。
□用法至極手輕便利也。
大瓶七十錢　小瓶四十錢　男子用三十錢
發賣 大阪 丹平商會
全國藥店化粧品店に販賣す

タイヨー萬年毛筆
最に五千本を限り特價賣出しの本品は非常の好評にて愈々全部を賣盡したれば各位の御厚情に酬ゆる爲製造元と交渉し引續き特價六十四錢を以て販賣可仕候間相變らず御用命ありたし
◎發賣所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　合資會社 京城日報社代理部

京日案内

普通五十錢　番外一圓(前金)
▲申込受付は前日正午迄 ▲御照會の節は必ず番號を記入されたし

女事務員入用 高等小學校卒業程度年齡廿歳迄本人自筆履歴書郵送當店より可否す 太平通一 初田活版所 904

内勤事務員採用 京城花園町一二二 電話二八八六 朝鮮物産通信所 關野 692

御不用の古本と古樂器は信用出來る 電話二三七振 三三本町ウツボヤ 906

◎宅地 南大門通二丁目湖農工銀行際三十坪餘 京城電話一〇一五番 高多金光堂

●下宿屋讓渡したし 市目抜の場所格安にて讓渡す希望の方は至急來談ありたし(姓名在社) 909

◎有給外交員數名至急募集す 希望者は履歴書携帶本人來談あれ 京城清進洞 野口 112

◎看護婦至急募集 希望の者は履歴書携帶來談あれ 京城本町丁目 山田醫院 914

店員入用 十四五歲小學卒業程度 市内に要保證人 本町二丁目 宇治茶舖

◎融通 月收の御方へ極秘迅速簡易立替 御報伺又は御來談 京城大和町三の三二(柄澤前) 起木屋 790

◎古本類高價買入 ▲是非御試を乞ふ 電話二四八四番へ ▲本町二 ▲書肆 792

◎看護婦二名入用 希望の者は履歴書携帶來談あれ 仁川 小倉病院 798

南山町二丁目三五番地に下宿料理屋に最も適當の貸家讓りたし(姓名在社) 794

●有給女事務員入用 履歴書携帶來談あれ 長谷川町 鮮滿工業社 798

●中古自用人力車讓り渡し 京城龍山 木村泰雄 793

▽店員一名至急入用 確實なる保證人を要す 京城旭町一 川西食料品店 783

▽各學校用古敎科書と參考書此際高價買受 ウツボヤ書店

●嫁入道具製造 たんす家具一式 京城本町四丁目 津村箪笥店 電二五二七 751

恩給年金長期即時立替 京城若草町通中央郵便ポスト前入 支店京城永樂町一 商品陳列舘前 勸業債券高價買受 電話三〇一一番 西村商會 647

恩給年金立替 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町(大正館向)元祖 博多屋本店 911

恩給年金立替 短期無保險 即時取引 利子極安 京城若草町一〇(金光敎東手) 電話二三九一番 國江商會 903

有給外務社員採用 毎日午前中履歴書持參の方面談す 永樂町二丁目 八千代生命保險株式會社 910

貸座敷向貸家二棟 御希望の方は來談あれ便宜御相談に應ず可候 龍山彌生町 電一五一番 湯川多吉 796

店員入用 十三乃至十六歳迄本年學校卒業の者五名體健市内に保證人を要す履歴書携帶來談あれ 輸出入羅紗商 南大門通二 電三九五 陸商會 784

◎礦物定量分析 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長一二三四 坂元分析所 760

移轉 ▲山田流箏曲敎授 園田松葉 京城本町二丁目釘本金物店前横町右側一軒目 779

京城春川間 自動車 毎日午前八時卅分出發 京城春川間貸金片道四圓 京城南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自動車組 775

有給外勤社員募集 希望者は履歴書送附あれ採用通知す 京城代理店 明治生命保險株式會社 本町二 山口是報店 771

三先流生花會 四月六日開催 本町二丁目 915

金冶齊 横井社中

魔法瓶 中瓶取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 787

本町通讓店 目拔の場所簡易にして確實有利なる老舖居拔の儘電話付諸道具の侭至急讓りたし(姓名在社)

助手並見習 看護婦至急入用 希望者は履歴書携帶來談あれ 南大門内正面 致世藥舘 902

鐵工募集 仕上製罐工 センバン成丈高給の方を望む 京城岡崎町 中根工場 913

外務社員採用 五名至急 但し固定給料の外歩合を給す 貞金町一丁目 國民興產株式會社 907

讓店 市内一等場所 食料雜貨店老舖目下盛業中有姿の儘格安に讓渡す御希望の御方は至急來談ありたし 698

ルーデサック 男用一打 四拾錢上製六拾錢

▲花柳病自宅療法 申込次第進呈 京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會滿鮮本部

日本郵船仁川出帆

○大連行、太沽(天津)牛莊行
和換丸 四月廿一日正午出帆
三河丸 四月十一日正午出帆
砂丸 四月 日正午出帆
仁川海岸町 堀回漕部 電話十一番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸 四月 日後四時出帆
○秀吉丸 四月六日後四時出帆
○君が代丸 四月 日後四時出帆
○神代丸 四月十三日後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行
○和歌浦丸 四月 日後五時出帆
○立神丸 四月 日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○山清丸 四月 日後四時出帆
○和歌浦丸 四月 日後十時出帆
○立神丸 四月 日後四時出帆
○元山丸 西湖、新浦、城津、清津行 四月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 四月 日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天眞丸 毎月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船會社
○芝罘、大連行 伏見丸 四月六日午後入港 四月八日正午出帆
本町四丁目(電話一七三番) 野口商會
仁川代理店 元山代理店 京城取次店 河村運送店

汽船仁川出帆

大福山丸 青島直行 四月十三日出帆
積荷は左記取次店へ御申込被下度候 但し船客並に米穀御斷り
申込取次店
仁川海岸町 三井物產株式會社出張所
仁川海岸町 堀商會回漕部
仁川本町一丁目 浦崎回漕部
仁川本町三丁目 野口商會

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、馬關、神戸、大阪行 天智丸 四月九日
×信濃川丸 四月十一日後五時出帆
△須磨丸 四月七日
●木浦、釜山、馬關、神戸、大阪行 四月 日正午出帆
○木浦、釜山、旅順、郁の浦、長崎行 安東丸 四月十四日後二時出帆
安東丸 五月二日
○群山、釜山、松浦行 鎮州丸 四月十五日後二時出帆
×鎮州丸 四月廿七日
○安東丸 四月九日後二時出帆
安東丸 四月廿七日
×大連直航 大州丸 四月九日正午出帆
福州丸 四月廿六日
△清津、城津、西湖津行 安平丸 四月十二日後十二時出帆
宮島丸 四月十一日
○上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 香港丸 四月十五日前六時出帆
基隆丸 五月三日後四時出帆
御注意 切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 内國通運會社京城支店 豊旅館

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番
○江原丸 四月廿三日
○京畿丸 四月十五日
○黃海丸 四月十九日
○成鏡丸 四月十一日 釜山發
○穩城丸 四月十四日
○昌平丸 四月十日
○鏡城丸 四月十日 元山發
○昌平丸 四月 日 元山發
○盛德丸 四月十日 釜山發
○江陵丸 ○襄陽丸 毎日 釜山浦項發
○三浦丸 四月十二日 釜山發
○海州丸 ○統營丸 毎日 釜山發
○平壤丸 四月十二日 元山發
○天草丸 三日目毎ニ 木浦發
○慶興丸 四月九日 木浦發
○慶興丸 四月十三日 木浦發
○公州丸 四月八日 木浦發
○江原丸 四月 日 仁川發
○麗水丸 ○晋州丸 四月十二日 四月八日 仁川發
○宗信丸 四月九日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發